

事務事業コード	752320	事務事業名	特産品協会運営支援事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	2	商工業の振興		グループ	観光地G
基本事業名	3	ブランド化の推進		電話番号	45-5111
				内線番号	2612
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 10 年度~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	4	観光費		霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	752320				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
市内に存在する2団体への運営費補助として補助金を交付している。平成21年度に二つの団体が合併して一つの団体となった。 (市の活動):各特産品協会に補助金を支出するための手続き(申請書等の受付から補助金の交付などの)を行い、特産品の開発、宣伝の推進を図る。 (特産品協会の活動):地域の特産品の開発及び販売経路の拡充。市内事業者83団体が加入。 地場産業の一翼を担うため、会員間の相互理解と連携を強め、霧島ブランドにふさわしい特産品のPRや、国内外へ販売路開拓、また、観光とリンクした特産品産業の振興を通じて、地域経済の活性化を促進するため、関係各所との連携を図り、各事業に取り組んでいる。 ①物産展出店推進(県内外各種出展事業、イベント等出展事業) ②霧島ブランド化策定(きりしまブランド策定事業、地産地消推進事業、霧島オリジナル商品開発事業、特産品調査研究事業) ③広報拡大(PR広報渉外事業、会員拡大の推進) ④その他 各実行委員会への参加								
補助金・負担金の交付先	霧島市特産品協会		補助金の対象経費	霧島市特産品協会補助金				
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	特産品協会が開発した特産品の数(述べ)		個	2	2	3	3	
イ								
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	特産品協会会員		会員数	人	85	83	90	95
イ								
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	新たな特産品を開発させる		開発された特産品の数	個	2	2	3	3
イ	特産品をPRするために物産展等に参加できる		霧島ブランドの販売額(商工業)	万円	654	589	600	620
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	競争力を強化する		新たに開発された特産品	個	1	1	1	
イ								

② 事業費		単位:千円		③ 事務事業の環境変化・住民意見等	
	23年度(決算)	24年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?		② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
予算額	当初予算額	1,154	平成10年より地域の特産品の販売拡大を目的に設立された特産品協会へ運営補助を交付した。		特になし。
	補正予算額				
	予算合計	1,154			
決算額	国庫補助金		③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?		④ この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金		特になし。		特になし。
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,154			
	支出合計	1,154			

事務事業 コード	752320	事務 事業名	特産品協会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									会員数	平成23年度 (決算)		平成24年度 (予定)		平成25年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山		補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	霧島市特産品協会										補助金	1,154	補助金	1,154	補助金	1,154
											自主財源	1,284	自主財源	1,300	自主財源	1,300
	合計										2,438	合計	2,454	合計	2,454	
対象地区										自主財源率	53%	自主財源率	53%	自主財源率	53%	
2											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
3											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
4											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
5											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
6											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
8											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
9											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計										補助金負担金合計	1,154	補助金負担金合計	1,154	補助金負担金合計	1,154	
										自主財源合計	1,284	自主財源合計	1,300	自主財源合計	1,300	
										自主財源率	53%	自主財源率	53%	自主財源率	53%	

■負担金交付の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の交付先種別				
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山				全国	九州	県	その他	
1										負担金額							
2										負担金額							
3										負担金額							
4										負担金額							
5										負担金額							
合計																	

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	1,154	第1回		第4回		第7回	
補正予算		第2回		第5回		第8回	
合計	1,154	第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	752320	事務事業名	特産品協会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	特産品協会へ活動資金を交付することにより、新たな特産品の開発や特産品をPRするための特産展等への参加ができ、霧島ブランドの競争力を強化することができ、意図に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、恵まれた自然線環境や地域文化に根ざした多くの特産品について、ブランド化を推進する必要があるので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は、補助金を交付し事業を行う特産品協会であるので妥当である。意図は、新たな特産品の開発や特産品をPRするための特産展等への参加行えるようになり、霧島ブランドの競争力を強化することに結びついているので妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	市内特産品協会が連携することにより、市内全域の特産品を効果的に情報発信でき成果の向上が図れる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	活動資金がないと、協会が解散することになる恐れがあり、新たな特産品の開発やPR活動ができなくなり、霧島市ブランド力が落ちることになり支障がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	自主財源が少なく、これ以上の削減は特産品協会の運営に支障をきたすため削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	市は補助金交付事務のみであり、人件費の削減余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	特産品協会へ補助金を交付することで、霧島ブランドの競争力が高まれば、関連事業者への経済効果も大きく、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	会員がそれぞれ、競争心を持ちながら、霧島ブランドの底上げをしたり、品質保持に努めてもらった。また、協会を通じて、各イベントへも積極的に参加してもらった。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
事務局であるきりしまミクスが中心となり、地域の特産品の開発及び販売経路の拡充と霧島ブランドの確立、会員数の増加を図る。 県内外の物産展に観光PRと一緒に、特産品の販売・PRの強化を図る。	事務局であるきりしまミクスが中心となり、地域の特産品の開発及び販売経路の拡充と霧島ブランドの確立、会員数の増加を図る。

事務事業コード	752215	事務事業名	マスコミを利用した広告事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		グループ	観光G
施策名	3	観光業の振興		電話番号	45-5111
基本事業名	1	観光誘致宣伝活動の展開		内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 50 年代~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	款	7	商工費		
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	
	目	4	観光費		
コード	752215				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
国内外からの多くの観光客を誘致するため、旅行情報誌・新聞及びホームページへの霧島市の観光情報の掲載など、様々なメディアを利用し、積極的な情報発信を行っている。 ※平成23年度の掲載媒体 <旅行情報誌> <input type="checkbox"/> 旬刊旅行新聞...32,000部(2011年11月21日発行), 32,000部(2012年3月21日発行) <input type="checkbox"/> 旅の手帖...180,000部(2011年10月1日発行) <input type="checkbox"/> 南日本新聞...357,000部(2011年11月23日発行) <input type="checkbox"/> 九州じゃらん...157,000部(2012年3月1日発行) <input type="checkbox"/> 月刊リープ...54,000部(2012年3月20日発行) <input type="checkbox"/> リビング新聞...350,000部(2012年3月17日発行)			事務事業の概要と同様			
			平成24年度計画			
		前年度と同様				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	掲載回数	回	4	7	6	6
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	広告を掲載した旅行雑誌、新聞等の読者	万部	13	116	100	100
イ						
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	霧島市を知ることができる。	万部	13	116	100	100
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	霧島市を観光地として認知してもらう。	位	27	22	20	
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)
予算額	当初予算額	900
	補正予算額	0
	予算合計	900
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	990
	支出合計	990

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 昭和50年代に合併前の各市町村を情報発信するために開始された。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 日本経済の長引く不況により国内の旅行者は年々減少している。そのような中で、より訴求力のあるタイミングでどの媒体を用いて広告を掲出すべきか十分に情勢を見極めながら打っていく必要がある。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 特になし	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし。

事務事業コード	752215	事務事業名	マスコミを利用した広告事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

単位:千円		平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
		単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報酬									
2	給料									
3	職員手当等									
4	共済費									
7	賃金									
8	報償費									
9	旅費									
10	交際費									
11	需用費									
	消耗品費									
	燃料費									
	食料費									
	印刷製本費									
	光熱水費									
	修繕料									
12	役員費	990		990	900		900			
	通信運搬費									
	広告料	990		990	900		900			
	手数料									
	保険料									
13	委託料									
14	使用料及び賃借料									
15	工事請負費									
16	原材料費									
17	公有財産購入費									
18	備品購入費									
19	負担金補助・交付金									
20	扶助費									
21	貸付金									
22	補償補填及び賠償金									
23	償還金・利息・割引料									
24	投資及び出資金									
25	積立金									
26	寄附金									
27	公課費									
28	繰出金									
計		990		990	900		900			

財源内訳	国									
	県									
	地方債									
	辺地債									
	過疎債									
	合併特例債									
	その他									
一般財源	990		990	900		900				
計	990		990	900		900				

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成23年度	当初予算	1,000千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	1,000千円			

平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	752215	事務事業名	マスコミを利用した広告事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	旅行雑誌や新聞に霧島市の観光情報を掲載し、情報発信をすることは、霧島市を観光地として認知してもらうことにつながり結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなせ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光情報を発信することは、市の重要な役割であり妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は情報を掲載した雑誌等の読者であり妥当である。意図は読者が霧島市を知ることができれば、霧島市を観光地として認知してもらうことにつながり妥当である。
B	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	限られた予算の中で、県内、県外のエリアターゲットや個人旅行・団体旅行など旅行形態を意識した情報発信を行い、十分に成果が出ているところである。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	観光を計画している方は、各市町村のホームページなどによる情報手段だけでなく、雑誌広告により一定の地域以外も含めた形で計画をたてることもあるので、この事業がなくなると、霧島の観光情報を発信する機会が減少し、観光地としての認知度が低下する恐れがある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	広告掲載数量(頁又は質等)を少なくすることで、事業費を削減することはできるが、情報発信の機会が減る恐れがあることから、これ以上の削減はできない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員の事務としては契約、支払、資料提供、取材協力等、最低限必要なものであり、削減できない。
D	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	不特定多数の人に発行している新聞・雑誌であり、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	掲載する媒体については、その時の観光動向や経済状況等を勘案し、より効果の高い媒体、時期、エリアを分析し広告を掲載していく必要がある。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
旅を促す魅力的な観光情報やイベント・キャンペーン情報を、ターゲットを意識しながら、より訴求力のある媒体を用いて、タイミングよく広告掲出を行い、本市の観光客増加に繋げる。	旅を促す魅力的な観光情報やイベント・キャンペーン情報を、ターゲットを意識しながら、より訴求力のある媒体を用いて、タイミングよく広告掲出を行い、本市の観光客増加に繋げる。

事務事業コード	752220	事務事業名	観光案内板・電照看板設置事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		グループ	観光PRG
施策名	3	観光業の振興		電話番号	45-5111
基本事業名	1	観光誘致宣伝活動の展開		内線番号	2612
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 50 年代~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	4	観光費		
	コード	752220			
関連計画	霧島市観光基本計画				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
新幹線やJRを利用し鹿児島を訪れた観光客に対して本市への誘致を図るために、広告看板を設置する事業。昭和50年代に隼人駅前及び隼人駅構内、日当山駅前に観光案内看板を設置している。 また、平成16年に九州新幹線が開通したことに伴い、鹿児島中央駅に電照看板を設置している。 ※電照看板とは・・・カラーフィルムに裏から照明をあてて広告するもの			事務事業の概要と同様			
② 活動指標 (事務事業の活動量)			平成24年度計画			
			22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	設置枚数	枚	4	4	4	4
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	駅利用者(鹿児島中央駅)	万人	315	425	425	425
イ						
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	霧島市を知ることができる。	人	315	425	425	425
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	霧島市を観光地として認知してもらう。	位	27	22	20	
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)
予算額	当初予算額	1,719
	補正予算額	0
	予算合計	1,719
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,719
	支出合計	1,719

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
昭和50年代に隼人駅、日当山駅を利用する旅行者に隼人地区を案内するために設置された。	平成16年に九州新幹線が一部開業し、平成23年3月12日に全線開業した。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
なし	なし

事務事業コード	752220	事務事業名	観光案内板・電照看板設置事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役員費	1,528		1,528	1,528		1,528			
通信運搬費									
広告料	1,528		1,528	1,528		1,528			
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料	191		191	191		191			
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,719		1,719	1,719		1,719			

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	1,719		1,719	1,719		1,719			
計	1,719		1,719	1,719		1,719			

補助率	国							
	県							
補助基本額								

平成23年度	当初予算	1,719千円			平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳			
	補正予算							
	第1回(6月)			第5回				
	第2回(9月)			第6回				
	第3回			第7回				
	第4回			第8回				
	予算合計	1,719千円			参加費等の事業実施のための収入説明			

事務事業コード	752220	事務事業名	観光案内板・電照看板設置事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	駅を利用する観光客の方々に、霧島市を知ってもらい、霧島市を観光地として認知してもらうことにつながり結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の観光地として認識度を高めるため観光情報を発信をするものなので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は駅の利用客で妥当である。意図は、駅を利用する観光客が観光案内板や電照看板を見て、霧島市を知ってもらい、霧島市を観光地として認知してもらうことに結びつくので妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	鹿児島中央駅に設置してある看板については、写真を国立公園再編と同時に変更したことにより、リアルタイムな情報発信、霧島市のよさを駅利用者へPRできた。隼人駅・日当山駅の観光看板においては名称の変更を適切に行えた。隼人駅の電照看板についてはPR効果の向上の為に契約を見直す等の措置をとる必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	鹿児島中央駅に設置してあるので、この事業をなくすと、鹿児島中心部の駅から霧島を広く知ってもらう手段が無くなり、新たな観光客の開拓ができなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	より多くの駅利用者へ霧島を認知してもらうために削減することはできないが、まだ、設置していない駅への設置することで、更に多くの方に周知が図れる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員は継続の看板設置については契約及び支払事務のみであり、削減余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	広く誰でも知ることができる事業であるので不公平ではない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	鹿児島中央駅の看板については、リアルタイムな情報発信を行うことで、多くの乗客等に周知することができ、多くの方に霧島市を知ってもらえた。隼人駅・日当山駅の観光看板においては名称の変更を適切に行えた。隼人駅の電照看板においてはリアルタイムな情報発信を行うためには、契約を見直す等の措置をとる必要がある。	

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
鹿児島中央駅利用者へのアピール度が図れる箇所に設置されているので、霧島のPRが図れる。	鹿児島中央駅の電照看板、隼人駅・日当山駅の観光案内板は、現状のままの取組みを継続したい。隼人駅の電照看板はリアルタイムな情報発信を行うための予算措置をおこなう。

事務事業コード	752222	事務事業名	観光宣伝事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光G
基本事業名	1	観光誘致宣伝活動の展開		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	4	観光費		
	コード	752222			
関連計画	観光基本計画				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
観光物産展など各種イベントにおいて、観光客を誘致することを目的に観光宣伝を実施する。 (主な活動内容) 観光物産展開催地のマスコミ等表敬訪問によるPR 霧島ふるさと大使による観光PR、ノベルティ配布、観光案内等 (主な活動場所) 首都圏、関西圏、中国地方、北部九州地区 【平成23年度宣伝実施実績】 広島フラワーフェスティバル(広島市)・誘客キャンペーンIN大阪(大阪市)・誘客キャンペーンIN山口(山口市)・街頭キャンペーン(宮崎市・熊本市・広島市)・北海道大薩摩展(札幌市)・小倉井筒屋観光物産展(北九州市)・鹿児島中央駅観光宣伝(鹿児島市)・各種旅行代理店向け説明会等			事務事業の概要と同様			
			平成24年度計画			
			前年度と同様			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	実施回数	回	20	49	30	35
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	国民	千人	127,510	128,057	127,500	127,500
イ						
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	各種イベント・観光宣伝で霧島市を知ることができる。	日	20	97	35	40
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	霧島市を観光地として認知してもらう。	位	27	22	20	
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)
予算額	当初予算額	3,131
	補正予算額	0
	予算合計	3,131
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	3,042
支出合計	3,042	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
市町村合併に伴い、新市の魅力を広く県内外にPRし、観光客誘致を行うため実施している。	新燃岳の噴火や東日本大震災、長引く景気の低迷等の影響を受け、観光客の減少がみられるが、それに伴い県、各種団体と連携した広域的な観光宣伝が行われるようになった。 新幹線全線開業効果を生かすための宣伝事業を新たに進めた。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
観光業関係者:新幹線全線開業により、中国や関西での重点的な宣伝活動が必要である。 観光業関係者・地域住民新燃岳噴火による風評被害を払拭するため、関係機関一体となった宣伝活動が必要である。	女性をターゲットにした観光宣伝の強化。 キャラクターや各種メディアを活用した観光宣伝の取組。

事務事業 コード	752222	事務 事業名	観光宣伝事業			担当部	商工観光部
						担当課	観光課

単位:千円		平成23年度 (決算)			平成24年度 (当初予算)			平成25年度 (見込)		
		単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報酬									
2	給料									
3	職員手当等									
4	共済費									
7	賃金									
8	報償費	792		792	800		800	800		800
9	旅費	473		473	659		659	659		659
10	交際費									
11	需用費	670		670	57		57	57		57
	消耗品費	40		40	57		57	57		57
	燃料費									
	食料費									
	印刷製本費	630		630						
	光熱水費									
	修繕料									
12	役員費	158		158	163		163	163		163
	通信運搬費	149		149	150		150	150		150
	広告料									
	手数料	9		9	13		13	13		13
	保険料									
13	委託料	499		499				5,000		5,000
14	使用料及び賃借料	21		21						
15	工事請負費									
16	原材料費									
17	公有財産購入費									
18	備品購入費									
19	負担金補助・交付金	429		429	439		439	439		439
20	扶助費									
21	貸付金									
22	補償補填及び賠償金									
23	償還金・利息・割引料									
24	投資及び出資金									
25	積立金									
26	寄附金									
27	公課費									
28	繰出金									
計		3,042		3,042	2,118		2,118	7,118		7,118

財源内訳	国									
	県									
	地方債									
	辺地債									
	過疎債									
	合併特例債									
	その他									
一般財源	3,042		3,042	2,678		2,678				
計	3,042		3,042	2,678		2,678				

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 23 年度	当初予算	3,131 千円			平成 23 年度 財源内訳の「その他」の内訳				
	補正予算								
	第1回 (6月)				第5回				
	第2回 (9月)				第6回				
	第3回				第7回				
	第4回				第8回				
予算合計		3,131 千円			参加費等の事業実施のための収入説明				

事務事業コード	752222	事務事業名	観光宣伝事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	各種観光宣伝の機会を通じて、霧島市を全国各地にPRすることは、霧島市を観光地として認知してもらうことにつながり結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなせ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光客を誘致するための宣伝を行う必要があるためである。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は、広く全国に対し事業を行うので日本国民で妥当である。対象は観光宣伝を行うことで、霧島市の情報を得る機会ができるので妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	観光宣伝をすることによって霧島市の知名度が増し、イメージアップにつながっているが、もっと観光宣伝の回数を増やしたり、民間団体が主体となったPRを行えば、霧島市を観光地として認知してもらう機会が増え、成果向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	観光宣伝事業は、霧島市の知名度・イメージアップを図るために重要であり、廃止をすると霧島市を観光地として認知してもらう機会がなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	観光協会、旅館協会等、民間団体が主体となって観光宣伝を行なうことができれば、事業費の削減ができる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	観光協会、旅館協会等、民間団体が主体となって観光宣伝を行なうことができれば、人件費の削減ができる。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市が観光宣伝を行い、霧島市の知名度を上げることで、霧島市を訪れる観光客が増え全市民的に経済効果が高まるので公平公正になっている。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		観光協会や旅館協会へ移譲すれば人件費、事業費の削減が図られる。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 (社)霧島市観光協会や各旅館協会等の組織と連携し、官民協働による観光宣伝を行い、宣伝事業のノウハウを習得することで、民間での自主的な宣伝活動の実施につなげる。	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 (社)霧島市観光協会や各旅館協会等の自主的な観光宣伝や官民協働による観光宣伝を促し、市の負担を軽減させる。 また、民間の視点でのPRを行う事により成果の向上も図られると思われる。

事務事業コード	752227	事務事業名	市PRスタッフ運営協議会活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		グループ	観光PRG
施策名	3	観光業の振興		電話番号	45-5111
基本事業名	1	観光誘致宣伝活動の展開		内線番号	2614
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 50 年度~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	4	観光費		
コード	752227				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
<p>霧島市PRスタッフ運営協議会に補助金を交付し、同協議会が行う霧島ふるさと大使の選考・活動を支援している。 (市の活動)同協会で補助金を交付手続きと、同協議会の事務局を担う。 (霧島市PRスタッフ運営協議会の活動)霧島ふるさと大使選考会の開催、霧島ふるさと大使の活動支援 ※ 霧島市PRスタッフ運営協議会とは、市内外で開催される各種イベントや観光宣伝において、霧島市をPRし観光客を誘致することを目的に選定する霧島ふるさと大使(PRスタッフ)の選考会の開催や活動を支援する団体で、霧島市・霧島商工会議所・観光協会にて組織される。 (霧島ふるさと大使募集の概要)○ 霧島ふるさと大使 3名募集 ○ 任務 8月～翌年7月の1年間、霧島市をPRするための観光宣伝や物産展、霧島市の主催・後援・協賛する行事等に参加 ○ 応募資格① 霧島市に居住か職場がある方で、18歳以上(高校生を除く)の健康でやる気のある方なら、老若男女・未婚既婚を問いません。② 月平均3、4日程度の業務・出張に従事できる方。③ 自薦・他薦を問いません。</p>								
補助金・負担金の交付先	霧島市PRスタッフ運営協議会		補助金の対象経費	PRスタッフの選考・活動支援				
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	出務回数		回	36	43	45	45	
イ	PRスタッフ選考会応募者数		人	17	14	15	15	
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	国民	日本の人口		億人	1.27	1.27	1.27	1.27
イ								
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	各種イベント・観光宣伝で効率的に観光PRができる。	出務人数(延べ)		人	56	68	70	72
イ								
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	霧島市を観光地として認知してもらう。	温泉地知名度ランキング		位	27	22	20	
イ								

(2)事業費		単位：千円		(3)事務事業の環境変化・住民意見等	
		23年度(決算)	24年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	1,501	1,400	昭和50年代、南九州における新婚旅行ブームが下火になり、観光客の減少に歯止めをかける手段としてミスコンテストを行い、ミスによる観光PRを全国各地で行うことで、観光客の誘致を図ることを目的に開始された。	平成19年度に応募対象に男性も応募できるようになり、PRスタッフとして1名選出された。 老若男女や未婚・既婚をイメージする名称を廃止し、誰でもなれる新たな名称に変更するように求められていたため、平成20年度、公募により市PRスタッフ「霧島ふるさと大使」に名称を変更した。
	補正予算額				
	予算合計	1,501	1,400		
決算額	国庫補助金			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,501			
	支出合計	1,501		特になし。	老若男女や未婚・既婚をイメージする名称を廃止し、誰でもなれる新たな名称に変更するように求められていたため、平成20年度、公募により市PRスタッフ「霧島ふるさと大使」に名称を変更した。

事務事業 コード	752227	事務 事業名	市PRスタッフ運営協議会活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成23年度 (決算)	平成24年度 (予定)	平成25年度 (予定)
1	霧島市PRスタッフ運営協議会	補助金 1,501	補助金 1,400	補助金
		自主財源 150	自主財源 150	自主財源
	対象地区	合計 1,651	合計 1,550	合計
	対象地区	自主財源率 9%	自主財源率 10%	自主財源率
2		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
	対象地区	自主財源率	自主財源率	自主財源率
3		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
	対象地区	自主財源率	自主財源率	自主財源率
4		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
	対象地区	自主財源率	自主財源率	自主財源率
5		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
	対象地区	自主財源率	自主財源率	自主財源率
6		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
	対象地区	自主財源率	自主財源率	自主財源率
7		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
	対象地区	自主財源率	自主財源率	自主財源率
8		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
	対象地区	自主財源率	自主財源率	自主財源率
9		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
	対象地区	自主財源率	自主財源率	自主財源率
計		補助金負担金合計 1,501	補助金負担金合計 1,400	補助金負担金合計
		自主財源合計 150	自主財源合計 150	自主財源合計
		自主財源率 9%	自主財源率 10%	自主財源率

■負担金交付の状況

単位：千円

	団体名・協議会名	平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の交付先種別			
					全国	九州	県	その他
1	負担金額							
2	負担金額							
3	負担金額							
4	負担金額							
5	負担金額							
	合計							

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	1,501	第1回	第4回	第7回
補正予算		第2回	第5回	第8回
合計	1,501	第3回	第6回	

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	752227	事務事業名	市PRスタッフ運営協議会活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市PRスタッフ運営協議会に補助金を交付することによって、県内外での観光宣伝の機会を通じて、霧島市を全国各地にPRでき、観光地として認知してもらうことにつながり結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光客を誘致するための宣伝を行う必要があるためである。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島ふるさと大使を選考し、観光宣伝の機会を通じて、霧島市を全国各地にPRできるので妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	霧島ふるさと大使の観光宣伝の回数を増やせば、霧島市を観光地として認知してもらう機会が増え、成果向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	霧島ふるさと大使は、霧島市の知名度・イメージアップを図る重要な存在であるので、廃止をすると観光宣伝を効率的に行えなくなり、霧島市を観光地として認知してもらう機会が減る。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	同協議会にかかる予算のうち、霧島ふるさと大使の制服の作成費が大きい。大使の任期を現在の1年から複数年に延長することにより、制服の作成費が削減でき選考会の費用も削減できる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	同協議会の事務は職員1名であたっているが、協議会の運営を観光協会等に移譲することによって人件費の削減余地がある。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島ふるさと大使の募集は全市を対象に行っており、観光宣伝の機会を通じて、霧島市を全国各地にPRするため公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果 A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	(2) 全体総括(振り返り、反省点) (有効性) 他市町村は、このようにして取り組んでいるのか。また、市評定で大使が任命できるように県等の協力をいただき、観光宣伝の回数を増やし、霧島の認知度をあげる。 (効率性) 協議会の委員でもある観光協会等へ移譲すれば人件費、事業費の削減が図られる。また、霧島ふるさと大使の任期を延長すれば事業費の削減が図れる。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 引き続き、市が事務局となり、霧島ふるさと大使の研修を強化するなど、大使のレベルアップを図ることで、霧島市を観光地として認知してもらう機会が増え、成果の向上が図られる。	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 事務局を観光協会等へ移譲するための協議を行う。 任期を延長するための協議を行う。

事務事業コード	752245	事務事業名	市観光協会活動支援事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光G
基本事業名	1	観光誘致宣伝活動の展開		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 21 年度~)
	項	1	商工費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	4	観光費	根拠法令・条例等	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	752245				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手 段 (事務事業の概要)								
(社)霧島市観光協会の事業及び運営補助として補助金を交付している。 (市の活動)同協会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、補助金交付)を行う。 (同協会の活動)観光案内、霧島市の情報発信、観光商品の開発、宣伝用ポスターチラシの作成・配布 ※(社)霧島市観光協会は、(社)大霧島観光協会・国分市観光協会・隼人町観光協会、国立公園霧島観光協会合併しH21年4月に発足した								
補助金・負担金の交付先		社団法人霧島市観光協会		補助金の対象経費				
				運営と活動支援				
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)	
ア	補助した団体数	団体		1	1	1	1	
イ								
ウ								
③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	観光業者・従事者	観光協会に加入している事業所数		数	249	248	250	250
イ								
⑤ 意 図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	市観光協会の活動運営を支援することにより広くPRすることができる	観光宣伝をした回数		回	2	4	2	2
イ		イベントを実施した回数		回	9	13	8	8
ウ								
⑦ 結 果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	霧島市を観光地として認知してもらう	温泉地知名度ランキング		位	27	22	24	
イ								

(2)事業費		単位：千円		(3)事務事業の環境変化・住民意見等	
		23年度 (決算)	24年度 (予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	15,439	17,296	霧島市が合併し、観光振興を一体となって推進するために、(社)霧島市観光協会は、(社)大霧島観光協会・国分市観光協会・隼人町観光協会、国立公園霧島観光協会合併しH21年4月に発足した。	(社)大霧島観光協会・国分市観光協会・隼人町観光協会、国立公園霧島観光協会合併しH21年4月に発足した。
	補正予算額				
	予算合計	15,439	17,296		
決算額	国庫補助金			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	15,439			
	支出合計	15,439		会員の拡大により、収入確保に努める必要がある。	各種イベント等について霧島市観光協会が事務局を担うことが望ましい。

事務事業 コード	752245	事務 事業名	市観光協会活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成23年度 (決算)		平成24年度 (予定)		平成25年度 (予定)	
1	社団法人霧島市観光協会	補助金	15,439	補助金	17,296	補助金	
		自主財源	決算中	自主財源	11,131	自主財源	
	対象地区	合計	15,439	合計	28,427	合計	
		自主財源率		自主財源率	39%	自主財源率	
2		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
3		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計		補助金負担金合計	15,439	補助金負担金合計	17,296	補助金負担金合計	
		自主財源合計		自主財源合計	11,131	自主財源合計	
		自主財源率		自主財源率	39%	自主財源率	

■負担金交付の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の交付先種別			
					全国	九州	県	その他
1	負担金額							
2	負担金額							
3	負担金額							
4	負担金額							
5	負担金額							
合計								

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	15,439
補正予算	
合計	15,439

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	752245	事務事業名	市観光協会活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光協会に補助金を交付することにより、市内全域を効率的に観光案内、情報発信でき、県内外の方々に霧島市を観光地と認知してもらうことに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は観光協会と共に霧島市の観光に関するリアルタイムな情報発信と県内外からの観光客誘致活動を行わなければならないため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は観光協会の活動でもっとも恩恵をこうむる観光従事者・事業者で妥当である。意図は観光協会に財政的な支援を行うことにより市内全域を対象とした情報発信が可能になるので妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	市、観光協会と一体となり、様々な誘致セールスやイベント等を行うことで県内外の方々に霧島市を観光地と認めていただく機会がもっと増えてくると思われる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市観光協会は21年度に合併したばかりで、補助金を廃止すると運営ができなくなり、大きな影響がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	新規会員の開拓や事業内容及び事業費の見直しにより、補助金への依存度が低くなると思われる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	市は補助金交付事務のみであり、人件費の削減余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光協会は霧島市全域を対象とした観光案内や情報発信等を行う団体であり補助金を交付することは公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	情報提供・意見交換を蜜にし、市と観光協会と一体となった誘致宣伝活動や情報発信を行っていく必要がある。 観光協会へ新規会員の積極的な勧誘や歳入のある事業を実施してもらうよう働き必要がある。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 (現状と課題) 情報提供・意見交換を蜜にし、市と観光協会と一体となった誘致宣伝活動や情報発信を行っていく必要がある。また、観光協会へ新規会員の積極的な勧誘や歳入のある事業を実施してもらうよう働き必要がある。 (課題解決) 会員の新規確保や収益事業の実施、歳入の見直しについて助言を行う。また、市が事務局を担っている各種イベントについて、観光協会への主催及び事務局を移管検討し、事業費の確保と市の事務負担軽減を図る。 (効果) 市と観光協課の連携を深め、それぞれの機能を強化することにより、更に効果的、効率的な観光事業の推進が図られる。	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 公益法人化への移行に伴い、各種事業内容の見直しや、公益事業実施、事業費確保のための調整協議を行う。

事務事業コード	752248	事務事業名	霧島大使運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		グループ	観光PRG
施策名	3	観光業の振興		電話番号	45-5111
基本事業名	1	観光誘致宣伝活動の展開		内線番号	2612
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 20 年度~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	4	観光費		
	コード	752248			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
市勢全般について理解を深め、それぞれの立場から市政に対する提言や意見をいただくとともに本市の観光や特産品等の市外への紹介、宣伝など本市のイメージアップにつながる活動及び本市への企業誘致や定住促進につなげるために、平成20年度より「霧島大使運営事業」を開始した。市勢の発展に寄与していただき、また更なる宣伝効果をあげることができる。委嘱は各部からの推薦に基づき行っている。 【おじゃんせ霧島大使委嘱者】辛島美登里・井上一樹・白鵬 翔・堤 剛・陸奥 一博 【観光宣伝】それぞれの活躍の場で霧島市をPRしてもらう。			事務事業の概要と同様			
			平成24年度計画			
		前年度と同様				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	委嘱者数(延べ)	人	5	5	6	6
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	国民	億人	1.27	1.27	1.27	1.27
イ						
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	霧島市の情報を得ることができる。	枚	1,100	1,600	2,000	2,000
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	霧島市を観光地として認知してもらう。	位	27	22	20	
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)
予算額	当初予算額	626
	補正予算額	0
	予算合計	626
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	116
	支出合計	116

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 郷土出身の著名人等の活動範囲の広さや人脈等により、日本全国に霧島市の観光をPRしていただき、霧島市の良さを全国に発信していくために、平成20年度から実施している。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 特に変化なし。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 特になし。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし。

事務事業コード	752248	事務事業名	霧島大使運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	24		24	28		28			
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	84		84	169		169			
消耗品費				22		22			
燃料費									
食料費									
印刷製本費	84		84	147		147			
光熱水費									
修繕料									
12 役務費	8		8	10		10			
通信運搬費	8		8	10		10			
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	116		116	207		207			

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	116		116	207		207			
計	116		116	207		207			

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成23年度	当初予算	212千円			平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳				
	補正予算								
	第1回(6月)				第5回				
	第2回(9月)				第6回				
	第3回				第7回				
	第4回				第8回				
予算合計	212千円								

事務事業コード	752248	事務事業名	霧島大使運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の観光や特産品をはじめ著名人によるPRは、霧島市を観光地として認知してもらうことができるので結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、霧島市に観光客を誘致するための活動をする必要があり、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は、大使と業務上やプライベートでかかわりがある人ということで国民で妥当である。意図は、観光宣伝により、情報の提供を受けることによって霧島市を観光地として認知してもらうことに結びつき、妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	新たな大使の委嘱を行い、様々な分野で霧島市をPRしていただくことができれば、市の更なる知名度アップに繋がる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	著名人によるPRを行うための有効な手段が失われる事になり、影響がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	名刺と盾のみを授与しており、他の経費が発生しないため削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	候補者推薦があった場合のみであり、恒常的業務ではないため削減余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島のイメージアップにつながる活動であり、公平・公正といえる。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	(有効性) 他市町は、どのようにして取り組んでいるのか。また、市内外で大使が活動できるように県等の協力をいただき、観光宣伝や市の記念行事等に来場、もしくはメッセージを寄せていただくことで霧島の認知度をあげ更なるPR効果が期待できる。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 市が事務局となり、新たな大使の委嘱を行い、霧島市の観光、良さを全国に発信いただき、市の更なる知名度アップに繋げる。	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 平成24年度の取組みと同様。

事務事業コード	752228	事務事業名	スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光PRG
基本事業名	2	地域の特色を活かした観光商品の開発の促進		電話番号	45-5111
				内線番号	2613
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 8 年度~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	4	観光費		霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	752228				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)							
霧島市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会に補助金を交付し、同実行委員会が行うスポーツ団体誘致活動を支援している。また、市は同実行委員会の事務局も担っている。 (市の活動) 同実行委員会に補助金を支出するための手続きを行う。 (実行委員会の活動) 団体誘致のためのセールス活動、歓迎レセプションの実施、誘致団体との連絡調整。 ※霧島市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会とは、H8年よりJリーグをはじめとする各種スポーツ団体の合宿等を霧島市に誘致し、市の活性化と観光客の誘致を図ることを目的に発足した団体である。 【平成23年度招致実績】 京都サンガF.C.、FCソウル、日本サッカー協会審判部、太陽誘電、豊田自動織機、かずさマジック、九州産業大学サッカー部、九州産業大学サッカーサークル、福岡教育大学テニスサークル、関西学院大学準野球部 計10団体							
補助金・負担金の交付先	霧島市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会	補助金の対象経費	スポーツ団体歓迎行事に要する経費				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	誘致活動回数	回	1	4	2	2	
イ	キャンプをPRした日数	日	22	25	13	13	
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	プロ・アマチュアのスポーツ団体	現在誘致活動を行っている団体数	団体	6	8	6	6
イ	旅行エージェント	PRを行ったエージェント数	社		1	1	1
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	霧島市でキャンプを行ってもらう。	新規にキャンプを行った団体	団体	3	5	3	3
イ	ツアーを組んでもらう	ツアー数	本		1	1	1
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	観光に活用できる商品が開発される。	開発された観光資源の数	本	5	10	10	
イ							

(2) 事業費		単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
		23年度(決算)	24年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	1,805	1,700	平成5年度に発足したJリーグを誘致するため平成8年度からJリーグチームをはじめとするプロ・アマチュアのスポーツ団体を誘致し、市の活性化と観光客の誘致を図ることを目的に発足した。	特に変化なし。
	補正予算額				
	予算合計	1,805	1,700		
決算額	国庫補助金			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,805			
	支出合計	1,805			
				誘致団体からはスポーツ施設のより一層の充実が望まれる。市民からは地域に密着したスポーツ団体の誘致が望まれる。また、宿泊が国分地区に集中しているため、隼人地区や牧園地区、霧島地区への宿泊が可能な学生などの団体の誘致を要望されている。	特になし。

事務事業 コード	752228	事務 事業名	スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成23年度 (決算)		平成24年度 (予定)		平成25年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	スポーツ団体誘致歓迎実行委員会									補助金	1,805	補助金	1,700	補助金	4,000
										自主財源		自主財源		自主財源	500
	合計									1,805		1,700		4,500	
自主財源率													11%		
2										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
計									補助金負担金合計	1,805	補助金負担金合計	1,700	補助金負担金合計	4,000	
									自主財源合計		自主財源合計		自主財源合計	500	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	11%	

■負担金交付の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の交付先種別				
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	負担金額			全国	九州	県	その他	
1										負担金額							
2										負担金額							
3										負担金額							
4										負担金額							
5										負担金額							
合計																	

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	1,805
補正予算	
合計	1,805

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	752228	事務事業名	スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市でプロ・アマチュアのスポーツ団体がキャンプを行い、旅行エージェント等を活用してツアー等を創生できれば、観光に活用できる商品が開発されることに繋がりが結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は国内旅行エージェントと共にスポーツを活かした観光商品ツアーを企画する必要があるので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は、霧島市でキャンプを行うプロ・アマチュアのスポーツ団体及び旅行エージェントであるので妥当である。意図は、多くの団体に霧島市でキャンプを行ってもらえば観戦ツアー等観光に活用できる商品が開発されるので妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	市HPやスポーツ専門誌への霧島市の情報掲載、誘致セールスの回数を増やせば、キャンプ団体も増え、観戦ツアー等観光に活用できる商品の開発につながり、成果の向上余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	同実行委員会が行っている誘致・歓迎にあたって連絡・調整・実施に関する各種事務を廃止すれば、スポーツ団体の誘致ができなくなり、地域の特色を活かしたスポーツ観光商品が開発できなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	現在は、市からの補助金のみで運営しており、他の事業収入等(旅館協会からの協賛金・選手とファンの有料の交流会等)を確保できる状態になれば市の事業費の削減の余地はある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	実行委員会の運営を観光協会等の観光関係団体に委託できれば人件費の削減余地はある。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市へスポーツキャンプを誘致することを目的とした団体は他に存在せず、自主財源はないがスポーツキャンプが行われることにより、広くスポーツ振興等にも役立っており、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の観光の振興を図るには欠かせない事業であるが、毎年、予算を削減され、十分な誘致セールスと情報発信ができないでいる。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
プロ及びアマチュアのスポーツ団体にスポーツキャンプの誘致セールスの回数を増やし、霧島市で多くのスポーツキャンプをしよう。また、これに伴い観光客へのツアー等の商品開発や市HP掲載、その他媒体での周知を行い観光客増加に繋げていく。また、事務に関しても可能な限り効率を良くしていく。	プロ及びアマチュアのスポーツ団体にスポーツキャンプの誘致セールスの回数を増やし、霧島市で多くのスポーツキャンプをしよう。また、これに伴い観光客へのツアー等の商品開発や市HP掲載、その他媒体での周知を行い観光客増加に繋げていく。また、事務に関しても可能な限り効率を良くしていく。

事務事業コード	752232	事務事業名	森林セラピー推進事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光地づくり・国立公園G
基本事業名	2	地域の特色を活かした観光商品の開発の促進		電話番号	45-5111
				内線番号	2614
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	款	7	商工費		
	項	1	商工費		
	目	4	観光費	根拠法令・条例等	
	コード	752232			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績				
国土緑化推進機構が提唱する「森林セラピープロジェクト」は、森が持つ癒し効果を科学的に解明し、森で過ごすことによって日頃のストレスを解消し、健康な日常生活を送ることが目的である。全国で霧島市を含む48の団体が森林セラピー基地及びセラピーロードに認定(霧島市は平成19年3月認定)されており、認定基地及び認定ロードではその地域独自のセラピーメニューを考案して観光振興や地域振興に活用することができる。 また、利用する方が楽しく、かつ、癒しの時間(とき)を過ごせるようなガイド養成講座を開催し、セラピーガイドの育成を図る。 <関連計画>観光基本計画 【森林セラピーロード】柳ヶ平、丸尾自然探勝路、手洗散策路			森林セラピーイベントの開催 森林セラピーガイド養成講座の開催				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	体験イベントの参加者数	人	51	72	100	100	
イ	体験イベントの回数	回	1	1	1	1	
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	森林	セラピーメニューの数	品目	1	1	1	1
イ	牧園地区を訪れた観光客	牧園地区を訪れた観光客数	万人	181	148	150	160
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	セラピーロードになる。	セラピーロード数	箇所	3	3	3	3
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	観光資源を活かして開発された観光素材	観光資源を活かして開発された観光素材の数(累計)	本	11	24	30	
イ							

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)	
予算額	当初予算額	1,388	1,691
	補正予算額	0	
	予算合計	1,388	1,691
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,388	
支出合計	1,388		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
霧島市誕生以前の平成17年中に、旧牧園町の関係者からこの事業に対する取り組みが提案され、合併後も霧島市に引き継がれている。	平成17年中に第2期の森林セラピー候補地として名乗りをあげ、平成18年中に専門家チームによる生理実験を実施し、癒し効果が科学的に解明され、平成19年3月に九州で2番目、鹿児島県では初めてとなる森林セラピー基地に認定された。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
旅行エージェントや利用者からセラピーガイドが要請がある。	特になし。

事務事業コード	752232	事務事業名	森林セラピー推進事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	219		219	207		207			
9 旅費	85		85	178		178			
10 交際費									
11 需用費	36		36	454		454			
消耗品費	36		36	34		34			
燃料費									
食料費									
印刷製本費				420		420			
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	700		700	699		699			
14 使用料及び賃借料	3		3	3		3			
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費	195		195						
19 負担金補助・交付金	150		150	155		155			
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,388		1,388	1,696		1,696			

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	1,388		1,388	1,691		1,691			
計	1,388		1,388	1,691		1,691			

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成23年度	当初予算	1,388千円			平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳				
	補正予算								
	第1回(6月)				第5回				
	第2回(9月)				第6回				
	第3回				第7回				
	第4回				第8回				
予算合計	1,388千円								

事務事業コード	752232	事務事業名	森林セラピー推進事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	現在3つのセラピーロードを中心に施設整備や健康メニューに検討を協議していくことは、観光に活用できる商品が開発されることに繋がっており結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、霧島市としての特色づくりと情報発信を行う必要があり、霧島温泉地区において、施設整備や健康メニューの検討などを協議し、森林セラピー基地としての事業展開を確立する必要があることから妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は森林とセラピーロードを歩く牧園地区を訪れた観光客であり妥当である。意図は霧島市内の森林がセラピーロードになれば、観光に活用できるメニューが増えるので妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	現在、牧園地域において事業を開始したばかりだが、将来的には霧島市全域を対象に更なるセラピーロードの整備をし、温泉・健康食品・クラシック音楽など、各種の資源を活かしたセラピーメニューを開発すると共に、医療とも連携したセラピー事業を展開することにより、セラピーロード数も増え、成果の向上余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	森林セラピー基地の認可を受けただけで、終わってしまい、セラピーロードを整備しなければ観光商品として活用できない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	必要最小限の事業費であり、削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在2人で事務に従事しており、今後も同様の人員を充当しなければ同様の成果は上がらないので削減余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	セラピーロードは誰でも無料で利用できるため公平・公正である。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	平成19年3月に森林セラピー基地として認定を受け、平成20年7月にオープニングイベントを行った。今後、温泉・健康食品・クラシック音楽など、各種の資源を活かしたセラピーメニューの開発やパンフレット等によるPRを行うとともに、森林セラピーを絡めたツアー商品を開発し、旅行者等に売り込む。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 癒しの森でセラピーを体感できるイベントを開催し、セラピーロードの利用拡充を図り、セラピーガイドを設立し、利用者の癒し体験の充実化を図り、健康維持・健康増進を図り、ホテル旅館等への宿泊促進につなげることができる。	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 霧島市観光協会と協力し、セラピーガイドの強化、新たなセラピーロードの整備を検討する。

事務事業コード	752250	事務事業名	龍馬ハネムーンウォークin霧島実行委員会活動支援事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光PRG
基本事業名	2	地域の特徴を活かした観光商品の開発の促進		電話番号	45-5111
				内線番号	2614
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 9 年度~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	4	観光費		
コード	752250				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)							
<p>龍馬ハネムーンウォークin霧島実行委員会に龍馬ハネムーンウォークin霧島の運営補助として補助金を交付している。 (市の活動)補助金を支出するための事務(申請書の受理、交付決定、補助金交付)を行い、同実行委員会のメンバーにも参画している。 (同実行委員会の活動)龍馬ハネムーンウォークin霧島の参加者の募集・当日の運営 ※同実行委員会は、霧島の自然や歴史を楽しむ事を目的に開催している龍馬ハネムーンウォークin霧島運営を行う団体。郵便局や市内業者を会員として運営されている。 <関連計画>霧島市観光基本計画 開催時期:3月中旬の土日(2日間) 参加料:[事前申込み]一般1,800円、中・高校生900円、小学生以下400円 [当日申込み]一般2,000円、中・高校生1,000円、小学生以下500円 コース:霧島温泉、大鍋・中津川、花はきりしま菜の花、隼人・天降川の4コース イベントの周知方法:南日本放送を通じての参加者募集、前年度の事前申込者への申込書の送付</p>							
補助金・負担金の交付先	龍馬ハネムーンウォークin霧島実行委員会		補助金の対象経費	龍馬ハネムーンウォークin霧島実行委員会の活動に関する経費			
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	事前申込者数		人	1,621	1,876	2,500	2,500
イ	当日参加者数		人	715	484	600	600
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	ハネムーンウォーク参加者	ハネムーンウォーク参加者数(延べ)	人	2,470	2,530	3,500	3,500
イ	実行委員数	隼人・牧園・霧島地区実行委員数	人	80	78	80	80
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	龍馬ハネムーンウォークに参加することにより、霧島市を歩きながら知ることができる。	ハネムーンウォーク参加者数(実人数)	人	2,336	2,360	3,000	3,000
イ	観光に勝湯できる商品が開発される	旅行商品数	個	4	3	5	5
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	観光資源を活かして開発された観光素材	観光資源を活かして開発された観光素材の数(累計)	本	11	24	10	
イ							

(2)事業費		単位:千円		(3)事務事業の環境変化・住民意見等	
		23年度(決算)	24年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
予算額	当初予算額	2,173	2,000	1866年土佐の坂本龍馬と妻のお龍が日本で最初の新婚旅行に訪れた地、霧島を現代の龍馬とお龍になって歩き、霧島の自然や歴史を楽しむことを目的に平成9年から開催された。	平成19年度から、霧島地区の「花は霧島菜の花コース」と隼人地区の「隼人・天降川コース」が追加された。平成20・21年度は実行委員会の事務局を担う団体がおらず、市で実行委員会の事務局を担った。
	補正予算額				
	予算合計	2,173	2,000		
決算額	国庫補助金			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,173			
	支出合計	2,173		特になし。	特になし。

事務事業 コード	752250	事 務 事業名	龍馬ハネムーンウォークin霧島実行委員会活動支援事業	担 当 部	商工観光部
				担 当 課	観光課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成23年度 (決算)	平成24年度 (予定)	平成25年度 (予定)
1	龍馬ハネムーンウォークin霧島実行委員会	補助金 2,173	補助金 2,000	補助金
		自主財源 5,327	自主財源 6,000	自主財源
	対象地区	合計 7,500	合計 8,000	合計
	対象地区	自主財源率 71%	自主財源率 75%	自主財源率
2		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
	対象地区	自主財源率	自主財源率	自主財源率
3		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
	対象地区	自主財源率	自主財源率	自主財源率
4		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
	対象地区	自主財源率	自主財源率	自主財源率
5		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
	対象地区	自主財源率	自主財源率	自主財源率
6		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
	対象地区	自主財源率	自主財源率	自主財源率
7		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
	対象地区	自主財源率	自主財源率	自主財源率
8		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
	対象地区	自主財源率	自主財源率	自主財源率
9		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
	対象地区	自主財源率	自主財源率	自主財源率
計		補助金負担金合計 2,173	補助金負担金合計 2,000	補助金負担金合計
		自主財源合計 5,327	自主財源合計 6,000	自主財源合計
		自主財源率 71%	自主財源率 75%	自主財源率

■負担金交付の状況

単位：千円

団体名・協議会名	平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の交付先種別			
				全国	九州	県	その他
1	負担金額						
2	負担金額						
3	負担金額						
4	負担金額						
5	負担金額						
	合計						

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	2,173
補正予算	
合計	2,173

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	752250	事務事業名	龍馬ハネムーンウォークin霧島実行委員会活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市で龍馬ハネムーンウォークを開催することで、市の名所・旧跡・観光地を歩きながら見ることができ、また、旅行会社が商品化していただいているため、結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光客の誘客と霧島市のPRと地域素材を活かすため地域住民の協力(実行委員)となり、イベントを開催することで、地域活動の活性化となるため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象:実行委員数、意図:旅行商品数を追加した。以前からも地域資源と活性化のために3地区の地域住民の皆様に実行委員として協力いただいている。地域の魅力・霧島市の魅力で旅行商品造成につながっている。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	参加者へのコース上でのサービスや、参加者への特典を増やせば参加者も増え、成果の向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	ウォーキングイベントとして定着しており、廃止すれば霧島市のイメージダウンに繋がる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	実行委員会に市内の企業等を取り込み、スポンサーを募り採用したり、商店街等からの寄付の徴収を積極的に行い、参加料の見直しにより事業費の削減は可能である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金の交付事務は最低限な事務であり、人件費の削減余地はないが、当日の運営に関しては、ボランティアを募り活用すれば、職員の動員が必要なくなり削減余地がある。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	イベント参加者から参加料を徴収し、運営しているので公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	(有効性) 今まで以上にコースでのおもなしの強化と、特典を検討し、参加者を増やす。 (効率性) 実行委員会へ企業等を取り込み、スポンサーを募り採用したり、商店街等からの寄付の徴収を積極的に行い、参加料の見直しにより、事業費の削減は可能である。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 平成23年度同様、参加者へのコース上でのサービスや、参加者への特典を増やし、実行委員会へ企業等を取り込み、スポンサーを募り採用したり、商店街等からの寄付の徴収を積極的に行い、参加料の見直等を実行委員会へ呼びかける。 参加者が、新燃岳噴火後 激減していることから平成24年度は、情報発信に特に力を入れていく。 また、事務局が市観光協会となる。	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 引き続き事務局は、市観光協会とし平成24年度の状況により判断。 例年通り、参加者へのコース上でのサービスや、参加者への特典を増やし、実行委員会へ企業等を取り込み、スポンサーを募り採用したり、商店街等からの寄付の徴収を積極的に行い、参加料の見直等を実行委員会へ呼びかける。

事務事業コード	752251	事務事業名	和気公園藤まつり実行委員会活動支援事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光PRG
基本事業名	1	観光誘致宣伝活動の展開		電話番号	45-5111
				内線番号	2614
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 16 年度~)
	項	1	商工費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	4	観光費	根拠法令・条例等	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	752251				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
和気公園藤まつり実行委員会に同実行委員会の運営補助として補助金を交付している。 運営費として、駐車場用地の借上料や交通警備員の経費、送迎バスの借上料等に充てている。 (市の活動)補助金を支出するための事務(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。 (実行委員会の活動)和気公園藤まつりの開催 ※ 和気公園藤まつり実行委員会とは、和気公園の藤に市民に親しんでもらうことと、地域活性化を目的に開催される和気公園藤まつりの運営を行う団体。周辺住民や市職員によって構成されている。 <関連計画>霧島市観光基本計画								
補助金・負担金の交付先		和気公園藤まつり実行委員会		補助金の対象経費				
				和気公園藤まつり実行委員会の活動に関する経費				
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	藤まつりの開催期間		日	17	15	13	15	
イ								
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	鹿児島県民	人口		万人	171	177	177	177
イ								
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	和気公園の藤を知ってもらう	藤まつりの来訪者数		人	34,161	46,191	32,000	40,000
イ								
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	霧島市を観光地と認知してもらう	温泉地知名度ランキング		位	27	22	20	
イ								

(2) 事業費		単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
		23年度(決算)	24年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	150	50	観光姉妹町であった岡山県和気町より藤花100本程度が寄贈され、花卉1mにも及び見事な藤花が咲くようになったのをきっかけに周辺設備の整備を図り、平成16年から藤まつりとしてイベントを開催するようになった。	特に変化なし。
	補正予算額				
	予算合計	150	50		
決算額	国庫補助金			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	150			
	支出合計	150		特になし。	特になし。

事務事業コード	752251	事務事業名	和気公園藤まつり実行委員会活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	和気公園で藤まつりを開催し、霧島市に沢山の見物客が訪れることにより、霧島市を観光地と認知してもらうことに繋がりが結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は観光客を誘致するための宣伝や情報発信をする必要があり、藤まつりを開催し霧島市を宣伝することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は、藤まつりに関して情報発信を行う県内の人々で妥当である。意図は、整備された藤棚を見に霧島市を訪れることにより、霧島市を観光地として認知してもらうことに繋がりが妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	一部しか開花しなかった藤もあるため、専門家に診断いただき、原因を把握する。また、新たな取組を行う。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	和気公園藤まつりは、霧島市のイベントとして定着しており、まつりの開催を中止すれば、霧島市の魅力を伝える機会の一つが失われることになる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	市の財政的な負担はない。(平成23年度は帆居金を交付していない。)
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	まつりの運営に対し、市の職員は関与していない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市の財政的な負担はない。(平成23年度は帆居金を交付していない。)
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	平成23年度は前年度に比べて来場者数が増加している。これはまつり期間は平成22年度と比べて少ないが、藤の開花が例年より遅れ、GWまで開催できたため。22年度と比べ入場料も増え、平成23年度については補助金申請がなされなかった。一部しか開花しなかった藤もあるため、専門家に診断いただき、指導を仰ぎたい。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 一部しか開花しなかった藤もあるため、専門家に診断いただき、原因を把握する。また、テレビやラジオなど、マスコミを活用したPR。ツアー客確保のための旅行代理店等への売り込みを行う。	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 例年通りテレビやラジオなど、マスコミを活用したPR。ツアー客確保のための旅行代理店等への売り込み。

事務事業コード	752266	事務事業名	塩浸温泉龍馬公園イベント事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光地づくり・国立公園グループ
基本事業名	3	受け入れ体制の充実		電話番号	64-0895
				内線番号	2614
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 23 年度~)
	項	1	商工費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	4	観光費	根拠法令・条例等	
	コード	752266			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
塩浸温泉龍馬公園は、平成22年5月1日にリニューアルオープン以来、平成23年3月末までの約1年間の間に27万人を超える方に来場いただき、観光客誘致促進及び地域活性化に大きな役割を果たした。 そこで、公園のオープン日及び龍馬夫妻が塩浸温泉を訪れた最初の日である5月1日や龍馬の誕生日であり命日でもある11月15日等の龍馬にゆかりのある日に合わせたイベント。また、龍馬資料館「この世の外」の入館や公園の来場数の記念人数達成日に合わせた記念イベントを開催し、霧島九面太鼓の演奏やねっば、霧島茶の振る舞い等を行う。			5/1 誕生祭 8/31 資料館入館3万人達成 11/13 龍馬祭 12/22 来園者40万人達成			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	イベントの開催回数	回	2	4	2	2
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	観光客(市民を含む)	人	8,140	4,310	2,000	2,000
イ						
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	施設周辺への集客	人	277,130	167,584	150,000	150,000
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	来訪者をもてなす受け皿ができる	%	未把握	未把握	80	
イ						
ウ	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	17	16	21	

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)
予算額	当初予算額	1,120
	補正予算	524
	予算合計	1,644
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	820
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	824
支出合計	1,644	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
塩浸温泉龍馬公園の開園1周年を記念に、イベントを行い、更なる観光客誘致と地域活性化を図るために始まった。	平成22年5月1日に施設がオープンし、イベントを通して今まで多くの来園者が訪れている。口蹄疫や新燃岳の影響等により市内の観光地が軒並み来園者減となっている中、塩浸温泉龍馬公園は大河ドラマの効果などもあり来園者は増加している。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
イベントの開催を通し、来園者からはすばらしいおもてなしだと喜ばれており、また、特産品販売や観光の情報発信もしているため出店者や来園者からも喜ばれている。	特になし。

事務事業コード	752266	事務事業名	塩浸温泉龍馬公園イベント事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	231		231	91		91			
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	186		186						
消耗品費	68		68						
燃料費									
食料費									
印刷製本費	118		118						
光熱水費									
修繕料									
12 役務費	935		935						
通信運搬費									
広告料	935		935						
手数料									
保険料									
13 委託料	292		292	109		109			
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,644		1,644	200		200			

財源内訳	国								
	県	820		820					
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	824		824	200		200			
計	1,644		1,644	200		200			

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成23年度	当初予算	1,120千円			平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳
	補正予算	524千円			
	第1回(6月)	524	第5回		
	第2回		第6回		
	第3回		第7回		
	第4回		第8回		
予算合計	1,644千円			参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	752266	事務事業名	塩浸温泉龍馬公園イベント事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	塩浸龍馬公園内でイベントを行うことで、公園はもとより周辺の観光地への集客につながっている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等の観光客を受け入れる体制を整える必要があるため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は市民を含む観光客としているため追加も限定も必要なく適切である。また、イベントを通じて観光客の集客、及び施設の周知・活性化を図っているため意図も適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	イベント参加者や施設管理委託者の声、また成功している他のイベントでの取り組み等を取り入れながら、回を重ねるごとに改良を図っていく。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	イベントを実施することで集客の増加、マスコミ等の露出度が高くなり来園者の増加が見込まれるが、話題性が乏しくなると施設への来場者の減少が考えられる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	イベントの内容の工夫や指定管理者への業務委託を行うことで事務量の削減もありうる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	指定管理者に業務委託することで、事務の軽減ができる。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	公園内は老若男女問わず、誰もが見学でき、また憩いの場として利用できる。またイベントへの参加料もいただいていない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	目的妥当性、公平性については条件を満たした事業であるといえる。一方、有効性、効率性については事業の改良や管理委託を行うことで改善していくことが必要である。		

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
イベントの回数を重ねながら改良を施し、最適な規模、予算でどのようなイベントを行えばよいか検討し実践していく。	適正な価格での業務管理委託を行い、委託業者と連携を深めながらイベントの改良を図っていく。

事務事業コード	752337	事務事業名	塩浸温泉龍馬公園維持管理事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光地づくり・国立公園G
基本事業名	3	受け入れ体制の充実		電話番号	45-5111
				内線番号	2614
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H22 年度~)
	項	1	商工費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	5	施設管理費	根拠法令・条例等	霧島市塩浸温泉龍馬公園の設置及び管理に関する条例 霧島市塩浸温泉龍馬公園の設置及び管理に関する条例施行規則
コード	752337				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
旧牧園町の「塩浸温泉福祉の里」を平成22年5月1日にリニューアルオープンした「塩浸温泉龍馬公園」の維持管理に関する事業。公園内には、幕末の風雲児「坂本龍馬」に関する書籍や霧島の温泉・塩浸温泉に関する展示がある。また、塩浸・鶴の湯のふたつの源泉を楽しむことができる「塩浸温泉」や足湯もある。平成元年に建立された、龍馬・お龍の湯治碑もある。 平成24年度からは、指定感謝制度を導入。 【温泉料金】 大人360円 小人140円 【資料館】 大人200円 小人100円			資料館については、展示品を一新し入園を期待したが、前年度ほど伸びなかった。誕生祭、40万人入園記念、龍馬祭などのイベントを実施し、PRに努めた。			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	龍馬資料館の入館者数	人	25,327	10,391	15,000	15,000
イ	塩浸温泉の利用者数	人	11,532	6,098	8,000	10,000
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	霧島市を訪れる観光客	万人	7,503	6,733	7,500	7,500
イ						
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	塩浸温泉龍馬公園を訪れ、霧島の歴史を知り、温泉を楽しむことができる。	万人	277	168	200	220
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	来訪者をもてなす受け皿ができる。	%	未把握	未把握	未把握	
イ	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	17	16		

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	23年度(決算)	32,094	24年度(予算)	7,439	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 平成22年大河ドラマ「龍馬伝」の放映が決定し、坂本龍馬が湯治で利用した、塩浸温泉の再整備を行うことで、霧島観光の拠点となる場所と位置づけ、霧島市への誘客の増加を図ることを目的に改築した。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? オープンして2年目であるが、初年度は大河ドラマ放映中ということもあり、多くの来訪者があった。展示も大河ドラマゆかりの特別展示館として人気もあった。2年目のジグクスもあり、2年目は激減した。今年度からは、指定管理者制度による運営になり、民間の知恵と努力により更なる誘客が期待できる。
	補正予算額		0				
	予算合計		32,094		7,439		
決算額	国庫補助金		0			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 公園利用者や通行人等より、公園がカーブのところにあり、危険性が高い。駐車場が少ない。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし。
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		0				
	一般財源		33,969				
支出合計		33,969					

事務事業コード	752337	事務事業名	塩浸温泉龍馬公園維持管理事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金	7,011		7,011						
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	2,375		2,375	270		270			
消耗品費	395		395						
燃料費	8		8						
食料費									
印刷製本費	368		368	270		270			
光熱水費	1,604		1,604						
修繕料									
12 役務費	170		170	14		14	14		14
通信運搬費	85		85						
広告料									
手数料	74		74						
保険料	11		11	14		14	14		14
13 委託料	7,113		7,113	11,000		11,000	11,000		11,000
14 使用料及び賃借料	180		180						
15 工事請負費	14,869		14,869						
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費	202		202						
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	31,920		31,920	11,284		11,284	11,014		11,014

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	33,969		33,969	32,094		32,094	8,000		8,000
計	33,969		33,969	32,094		32,094	8,000		8,000

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成23年度	当初予算	32,094千円			平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳				
	補正予算								
	第1回(6月)				第5回				
	第2回(9月)				第6回				
	第3回				第7回				
	第4回				第8回				
予算合計	32,094千円			参加費等の事業実施のための収入説明					

事務事業コード	752337	事務事業名	塩浸温泉龍馬公園維持管理事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市を龍馬ゆかりの地として同公園を整備することで、来訪者をもてなす受け皿ができることに繋がるので、結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等の観光客を受け入れる体制を整える必要があるため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は、霧島市を訪れる観光客で妥当である。意図は霧島市を訪れた観光客が、塩浸龍馬公園を訪れ、霧島市の歴史を知り、温泉を楽しむことは、来訪者をもてなす受け皿ができることに繋がり妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	施設を適切に維持管理また、限られたスペースではあるが資料館等を充実化することで、また、良質で、龍馬ゆかりの温泉であることからPR等の充実化を図ることで、リピーターが増え成果の向上余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	観光客の目玉にもなっている当施設がなくなると観光客の減少に繋がる。また、地区の方も当温泉を利用しているため、廃止はできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 市内観光施設維持管理事業 塩浸温泉龍馬公園は営業時間等の関係で特殊な勤務であるため連携はできない。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	旧福祉の里を基に改築されているため、基礎部分の老朽化は否めないが、ある程度の改修を行うことで、改修後の事業費は削減できる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	平成24年度から指定管理者制度を導入しているため、3年間の委託料が決まっているため、これ以上の削減はできない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	条例に定められた範囲内での資料館・温泉の利用料金なので、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	資料館の展示品の改修などには多額の経費を必要とする。平成24年度からの指定管理者制度に伴う、管理運営により、民間的発想が期待できる。また、泉源の浚渫等の改修工事が完了し、豊富な湯量により、安定した温泉を利用してもらえるうえ、これからの改修事業費は軽減の期待ができる。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 指定管理者制度を導入したことで、これまで以上にPRやイベントなどが期待でき、当指定管理者のネットワークにより、新たな展示品等も期待できる。	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 現状の人員体制の見直しもできないか、検討していく必要がある。また、施設の維持管理に努める必要がある。

事務事業コード	752257	事務事業名	花と緑のまちづくり推進事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光地づくり・国立公園グループ
基本事業名	3	受け入れ体制の充実		電話番号	64-0895
				内線番号	2614
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 3 年度~)
	項	1	商工費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	4	観光費	根拠法令・条例等	
	コード	752257			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績				
市は、「花は霧島・たばこは国分」と民謡にあるように、花に彩られた霧島を演出し、美しい観光霧島のイメージ定着化を図るため、上野原縄文の森入口(50%)と国民休養地周辺・農大跡地(5%)・霧島温泉駅等(15%)を利用してそれぞれの場所のイメージに合った花(チューリップ、コスモス、菜の花等)を植栽している。 花の植栽や維持管理については、シルバー人材センター等に委託している。			事務事業の概要と同様				
			平成24年度計画				
		前年度と同様					
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	作業にかかった人員	人	30	30	30	30	
イ							
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	上野原縄文の森入口(原野)及び国民休養地周辺・農大跡地・霧島温泉駅	植栽面積	a	707	707	657	707
イ							
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	花の植栽により景観形成を行う。	苦情件数	件	0	0	0	0
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	来訪者をもてなす受け皿ができる	地元住民のもてなしを感じた旅行者の割合	%	未把握	未把握	80	
イ		もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	17	16	21	

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)
当初予算額	2,108	200
補正予算	0	
予算合計	2,108	200
国庫補助金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	2,108	
支出合計	2,108	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
平成3年に開設した上野原縄文の森の残地(市有地)に花を植えることによって、訪れる人に癒しを与えることを目的に開始された。また、国民休養地周辺・農大跡地・霧島温泉駅等については平成15年から開始された。	花を植えて景観を整えていることで、人々が集まり憩いの場として定着しつつある。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
特に意見などはないが、好意的に受け入れられているように感じる。	なし

事務事業コード	752257	事務事業名	花と緑のまちづくり推進事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	150		150						
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	59		59						
消耗品費	59		59						
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役員費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	1,813		1,813	200		200			
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	2,022		2,022	200		200			

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	2,108		2,108	200		200			
計	2,108		2,108	200		200			

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成23年度	当初予算	2,108千円			平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳				
	補正予算								
	第1回			第5回					
	第2回			第6回					
	第3回			第7回					
	第4回			第8回					
予算合計	2,108千円			参加費等の事業実施のための収入説明					

事務事業コード	752257	事務事業名	花と緑のまちづくり推進事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	花を植栽することにより、原野が整備され、景観も美しくなり、来訪者をもてなす受け皿ができることにつながり結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等の観光客を受け入れる体制を整える必要があるため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は植栽をする原野であり妥当である。意図は花植栽をして原野が整理されることは、来訪者をもてなす受け皿ができることにつながるため妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	維持管理を徹底し、また広く周知することにより、来訪者数も増え、成果の向上が更に図られる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	観光施設や観光沿線が花がなく荒地の状態だと、観光客に悪い印象を与えてしまうので廃止はできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	長持ちのする花を植栽するなど、事業費の削減が可能である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	維持管理をすべて外部へ委託しているため、削減余地がない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	老若男女問わず、誰もが見学でき、また憩いの場として利用できる。また観光地の沿線の荒れている原野の整備にもつながり公平である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	維持管理の方法や情報発信を効率的に行うことにより、更に成果の向上につながる。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
・維持管理を徹底、長持ちのする花を選定し植栽する →経費削減に繋がる ・植栽後に広報、PR等を徹底する →誘客及び観光地霧島のイメージアップに繋がる	・維持管理を徹底、長持ちのする花を選定し植栽する ・植栽後に広報、PR等を徹底する

事務事業コード	752226	事務事業名	観光ボランティアガイド運営事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光PRG
基本事業名	3	受け入れ体制の充実		電話番号	45-5111
				内線番号	2613
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 19 年度~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	4	観光費		特になし
	コード	752226			
関連計画	霧島市観光基本計画				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
霧島市を訪れた観光客を対象に、観光地等の案内をする観光ボランティアガイド「霧島しつちよいどん」を養成し、市内の観光地点で観光案内や史跡の解説を行う。 【ボランティアガイド数】23名 【ボランティア料金】観光客1人200円。 【ガイドを行う場所】霧島神宮、和気公園、日当山地区(散策)			事務事業の概要と同様			
			平成24年度計画			
		前年度と同様				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	ボランティアガイド養成研修の開催回数	回	5	3	4	4
イ	ガイドを行った回数	回	21	49	40	50
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	ボランティアガイド	人	26	23	30	35
イ	ボランティアガイドに関心を持っていない人	人	4	0	5	5
ウ	霧島の観光客	万人	750	673	1,000	1,000
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	ボランティアガイドとしてのスキルが高まる。	人	26	23	30	35
イ	ボランティアガイドに登録してもらう	人	28	0	2	5
ウ	ボランティアガイドを利用してもらう	人	195	680	225	250
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	来訪者をもてなす受け皿ができる。	%	未把握	未把握	80	
イ		位	17	16	21	

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)
予算額	当初予算額	42
	補正予算額	0
	予算合計	42
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	42
	支出合計	42

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
大河ドラマ「篤姫」の放映が決定し、県内の観光地では篤姫に関する史跡を巡る観光ツアーが増えてきたが、史跡めぐりの際にまちあるきの案内をするガイドは必要であり、平成19年度より本市でも取り組みを開始した。	近年の旅行形態は単なる物見遊山的なものでなく、体験型が主流になっている。ボランティアガイドは実際にまちを歩き、テーマに沿った説明を聞き、そのものを見ると同時に住民とのふれあいもあることから、利用者のニーズに合った旅行形態であると考えられる。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
特になし	特になし

事務事業コード	752226	事務事業名	観光ボランティアガイド運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

単位:千円		平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
		単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報酬	24		24	24		24	24		24
2	給料									
3	職員手当等									
4	共済費									
7	賃金									
8	報償費									
9	旅費									
10	交際費									
11	需用費	18		18	18		18	18		18
	消耗品費	4		4	4		4	4		4
	燃料費									
	食料費	14		14	14		14	14		14
	印刷製本費									
	光熱水費									
	修繕料									
12	役員費									
	通信運搬費									
	広告料									
	手数料									
	保険料									
13	委託料									
14	使用料及び賃借料									
15	工事請負費									
16	原材料費									
17	公有財産購入費									
18	備品購入費									
19	負担金補助・交付金									
20	扶助費									
21	貸付金									
22	補償補填及び賠償金									
23	償還金・利息・割引料									
24	投資及び出資金									
25	積立金									
26	寄附金									
27	公課費									
28	繰出金									
計		42		42	42		42	42		42

財源内訳	国									
	県									
	地方債									
	辺地債									
	過疎債									
	合併特例債									
	その他									
一般財源	42		42	42		42	42		42	
計	42		42	42		42	42		42	

補助率	国		
	県		
補助基本額			

平成23年度	当初予算	42千円			平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳
	補正予算				
	第1回(6月)	第5回			
	第2回(9月)	第6回			
	第3回	第7回			
	第4回	第8回			
予算合計	42千円			参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	752226	事務事業名	観光ボランティアガイド運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	ボランティアガイドを養成し、市内の観光地点を低価格で案内させることは、来訪者をもてなす受け皿ができることにつながり結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光客を受け入れる体制を整備するということは市の責務であり、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は養成するボランティアガイドとガイド利用者であり妥当である。意図はボランティアガイドとしてのスキルが高まり、利用者に霧島市を詳しく知ってもらうことは、来訪者をもてなす受け皿ができることに結びつくので妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	ボランティアガイドの数が増えれば、案内できる観光客の数や回数も増えるので成果の向上の余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	旅行者や旅行代理店等から要望も多く、今の時点で廃止することは観光客の減少を招き、霧島市のイメージダウンに繋がる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	ボランティアの協力による事業であり、最小の事業費しか投入していない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	ボランティアガイドの運営は市の職員が行っており、観光協会へ委託すれば人件費の削減が可能である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光客一人に対し200円のガイド料を徴収しており、費用負担は適正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	定期的な研修会を継続して人材を育成すると共に、ガイド同士の意見交換会等でまだ知られていない地元の史跡等を紹介してもらい、新たなガイドコースになり得ないか調査する。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 新たな人材を発掘し、ガイドをすることで同じ観光地でも違った視点から観光地を楽しむことができるので、リピーターの増加に期待できる。	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 研修会等に観光協会事務局からも参加してもらい、将来的に業務の主管を観光協会に移管する方向で調整する。

事務事業コード	752336	事務事業名	道の駅管理運営委託事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光地づくり・国立公園グループ
基本事業名	3	受け入れ体制の充実		電話番号	45-5111
				内線番号	2614
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 6 年度~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	5	施設管理費		特になし
	コード	752336			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
道の駅「霧島」は、霧島市霧島田口字霧島山2583-8に位置し、霧島屋久国立公園の霧島地区を周回している国道223号に面しており、標高500mほどの高台にある。駐車場、野外トイレ、遊歩道及び人口滝を有する道の駅の維持管理運営を委託している。 【委託先】神話の里公園株式会社 【委託業務】施設の維持管理及び施設周辺の清掃 九州・沖縄道の駅連絡会議・イベント等への参加 維持管理をする上で必要な会計事務			事務事業の概要と同様			
			平成24年度計画			
		前年度と同様				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	開館日数	日	365	366	365	365
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	道の駅利用者	人	198,125	199,061	210,000	215,000
イ						
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	整備・清掃が整った施設を安心して利用できる。	件	1	1	0	0
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	来訪者をもてなす受け皿ができる。	人	未把握	未把握	80	
イ						
ウ	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	17	16	21	

(2) 事業費 単位:千円

	23年度 (決算)	24年度 (予算)
予算額	当初予算額	2,400
	補正予算	0
	予算合計	2,400
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	2,400
	支出合計	2,400

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 国土交通省より、国道223号の道の駅として平成6年4月26日に登録、指定された。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 道の駅の休憩ステーション及び情報発信拠点施設と定着してきている。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 宮崎、鹿児島を結ぶ主要道の県境周辺に設置されていることで、トイレや昼食等ができることで喜ばれている。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし

事務事業コード	752336	事務事業名	道の駅管理運営委託事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

単位:千円		平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
		単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報酬									
2	給料									
3	職員手当等									
4	共済費									
7	賃金									
8	報償費									
9	旅費									
10	交際費									
11	需用費									
	消耗品費									
	燃料費									
	食料費									
	印刷製本費									
	光熱水費									
	修繕料									
12	役員費									
	通信運搬費									
	広告料									
	手数料									
	保険料									
13	委託料	2,400		2,400	2,400		2,400	2,400		2,400
14	使用料及び賃借料									
15	工事請負費									
16	原材料費									
17	公有財産購入費									
18	備品購入費									
19	負担金補助・交付金									
20	扶助費									
21	貸付金									
22	補償補填及び賠償金									
23	償還金・利息・割引料									
24	投資及び出資金									
25	積立金									
26	寄附金									
27	公課費									
28	繰出金									
計		2,400		2,400	2,400		2,400	2,400		2,400

財源内訳	国									
	県									
	地方債									
	辺地債									
	過疎債									
	合併特例債									
	その他									
一般財源	2,400		2,400	2,400		2,400	2,400		2,400	
計	2,400		2,400	2,400		2,400	2,400		2,400	

補助率	国			
	県			
補助基本額				

平成23年度	当初予算	2,400千円			平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳
	補正予算				
	第1回		第5回		
	第2回		第6回		
	第3回		第7回		
	第4回		第8回		
予算合計	2,400千円			参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	752336	事務事業名	道の駅管理運営委託事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道の駅を神話の里公園株式会社に委託し、定期的な清掃や維持管理を行うことは受け入れ体制の充実に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなせ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、霧島市を訪れる観光客の利用する施設を整備する必要があり妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は施設利用者であり妥当である。意図は維持管理を適切に行えば、来訪者が整備・清掃が整った施設を安心して利用でき妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	施設は定期的に点検、整備、清掃されており現状のままで成果の向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	観光客が市の施設を安心して利用できなくなり、霧島市のイメージダウンに繋がる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	隣接している神話の里と一緒に指定管理委託できれば効率的に維持管理を行うことができ、事業費の削減余地がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	市は、委託料の支払い事務のみであり、削減余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道の駅は霧島地区を訪れた観光客が誰でも気軽に訪れることができる施設であり受益者負担はそぐわない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
道の駅は現在、隣接する神話の里公園を指定管理委託している神話の里公園(株)に維持管理を委託している。維持管理の手法等特に問題は無く、利用者からのクレームもほとんどない状態である。平成24年度も同様に適切な維持管理に努めていく。	適切な維持管理を行っていく。

事務事業コード	752236	事務事業名	日当山温泉旅館組合運営支援事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光PRG
基本事業名	3	受け入れ体制の充実		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	1	商工費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	4	観光費	根拠法令・条例等	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	752236				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)

日当山温泉旅館組合とは、日当山地区への観光客誘致を目的として設立した団体。日当山地区の宿泊施設を会員として運営されている団体である。(市の活動)
 日当山地区を訪れた観光客の受入のため、日当山温泉旅館協会が行っている観光誘致宣伝活動などの事業に対し入湯税の還元として補助金を支給している。
 補助金申請受付→補助金確定通知→補助金請求→補助金交付
 (日当山温泉旅館協会の活動)
 霧島市の「元気です霧島キャンペーン」事業に合わせた宣伝活動、温泉ガイドブックの作成、のぼり旗の作成、日当山駅の清掃など

補助金・負担金の交付先	日当山温泉旅館協会	補助金の対象経費	観光誘致宣伝事業
-------------	-----------	----------	----------

② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)		
ア	補助した団体数	団体	1	1	1	1		
イ								
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	霧島市を訪れた観光客数	観光客数	人	7,503,403	6,733,375	10,000,000	10,000,000	
イ								
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	日当山地区の観光を楽しむことができる。	苦情件数	件	未把握	未把握			
イ								
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	来訪者をもてなす受け皿ができる。	地域住民・観光業者のおもてなしを感じた旅行者の割合	%	未把握	未把握	80		
イ		もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	17	16	21		

(2) 事業費		単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
		23年度 (決算)	24年度 (予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	227	227	日当山地区を訪れる観光客の受け入れ体制の強化を目的に開始された。	特になし。
	補正予算額				
	予算合計	227	227		
決算額	国庫補助金			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	227			
	支出合計	227			

事務事業 コード	752236	事務 事業名	日当山温泉旅館組合運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									会員数	平成23年度 (決算)		平成24年度 (予定)		平成25年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山		補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	日当山温泉旅館組合										補助金	227	補助金		補助金	
											自主財源	1,773	自主財源		自主財源	
										合計	2,000	合計		合計		
									自主財源率	89%	自主財源率		自主財源率			
2											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計		
									自主財源率		自主財源率		自主財源率			
3											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計		
									自主財源率		自主財源率		自主財源率			
4											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計		
									自主財源率		自主財源率		自主財源率			
5											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計		
									自主財源率		自主財源率		自主財源率			
6											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計		
									自主財源率		自主財源率		自主財源率			
7											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計		
									自主財源率		自主財源率		自主財源率			
8											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計		
									自主財源率		自主財源率		自主財源率			
9											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計		
									自主財源率		自主財源率		自主財源率			
計										補助金負担金合計	227	補助金負担金合計		補助金負担金合計		
										自主財源合計	1,773	自主財源合計		自主財源合計		
										自主財源率	89%	自主財源率		自主財源率		

■負担金交付の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の交付先種別				
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山				全国	九州	県	その他	
1										負担金額							
2										負担金額							
3										負担金額							
4										負担金額							
5										負担金額							
										合計							

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	227	第1回		第4回		第7回	
補正予算		第2回		第5回		第8回	
合計	227	第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	752236	事務事業名	日当山温泉旅館組合運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	日当山温泉旅館協会に運営補助を交付することによって、日当山地区の観光振興が円滑に行え、来訪者をもてなす受け皿ができることに繋がり結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等の観光客を受け入れる体制を整える必要があるので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市(日当山地区)を訪れる観光客に、気持ち良く過ごしてもらうために日当山地区旅館協会に補助金を交付し、同地区の受入体制を整備することは、来訪者をもてなす受け皿ができることに結びつくので対象・意図共に妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、事業費の削減余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	霧島市の観光振興には欠かせない団体であるので、廃止すると観光客が減少し影響がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、観光客の増加が見込まれ成果向上の余地がある。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、事業費の削減余地がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員は補助金の交付事務のみであり削減余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	旅館協会は市からの補助金だけではなく会費も徴収し運営がなされているので公平・公正である。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果 A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、事業費等の削減余地がある。

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成24年度(今年度)の取組み概要及び期待される効果 宣伝事業の強化、効率的な観光の振興と情報発信することで観光客の増加が見込める。	② 平成25年度(来年度)に取り組むべき具体的な内容 市内に存在する5つの旅館協会の連携
---	---

事務事業コード	752239	事務事業名	妙見・安楽地区観光客誘致宣伝活動事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光G
基本事業名	3	受け入れ体制の充実		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 40 年代~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	4	観光費		霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	752239				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
<p>新川渓谷温泉郷の中にある妙見温泉振興会、安楽温泉振興会の運営・宣伝事業に対し入湯税の還元として補助金を交付している。(市の活動)妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。補助金申請受付→補助金確定通知→補助金請求→補助金交付 (各団体の活動)妙見・安楽地区を訪れた観光客の受入のための事業を行う。(モミジ植栽、サイン整備、街路灯の管理)*妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会とは、観光客誘致を目的として設立した団体。妙見・安楽地区の宿泊施設を会員として運営されている団体である。 平成23年度の活動内容としては、いざ霧島キャンペーン実行委員会が行う誘客促進事業への参画、温泉観光士養成講座の準備手配や、外灯や屋外にある看板等の整備、各地区の清掃美化活動などを行った。</p>								
補助金・負担金の交付先		妙見温泉振興会・安楽温泉振興会		補助金の対象経費				
				妙見・安楽地区の活動に要する経費				
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	モミジの植栽数		本	2	2	2	2	
イ								
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	霧島市を訪れた観光客数	観光客数		人	7,503,403	6,733,375	10,000,000	10,000,000
イ								
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	妙見・安楽地区の観光を不自由なく楽しむことができる。	妙見・安楽地区に関する苦情件数		件	未把握	未把握		
イ								
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	来訪者をもてなす受け皿ができる。	地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合		%	未把握	未把握	80	
イ		もう一度行ってみたい温泉地ランキング		位	17	16	21	

(2)事業費 単位：千円

	23年度(決算)	24年度(予算)	
予算額	当初予算額	207	207
	補正予算額		
	予算合計	207	207
決算額	国庫補助金		
	県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	207	
	支出合計	207	

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
昭和40年代より、妙見・安楽地区の観光振興を図ることを目的に開始された。	特に変化なし。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
特になし。	特になし。

事務事業 コード	752239	事務 事業名	妙見・安楽地区観光客誘致宣伝活動事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成23年度 (決算)		平成24年度 (予定)		平成25年度 (予定)	
1	妙見温泉振興会	補助金	146	補助金	146	補助金	
		自主財源	284	自主財源		自主財源	
	対象地区	合計	430	合計	146	合計	
	対象地区	自主財源率	66%	自主財源率		自主財源率	
2	安楽温泉振興会	補助金	60	補助金	61	補助金	
		自主財源	33	自主財源		自主財源	
	対象地区	合計	93	合計	61	合計	
	対象地区	自主財源率	35%	自主財源率		自主財源率	
3		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
	対象地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
	対象地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
	対象地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
	対象地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
	対象地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
	対象地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
	対象地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計		補助金負担金合計	206	補助金負担金合計	207	補助金負担金合計	
		自主財源合計	317	自主財源合計		自主財源合計	
		自主財源率	61%	自主財源率		自主財源率	

■負担金交付の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の交付先種別			
					全国	九州	県	その他
1	負担金額							
2	負担金額							
3	負担金額							
4	負担金額							
5	負担金額							
合計								

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	207	第1回		第4回		第7回	
補正予算		第2回		第5回		第8回	
合計	207	第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	752239	事務事業名	妙見・安楽地区観光客誘致宣伝活動事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会へ運営補助を支出することは、妙見・安楽地区の観光振興が円滑に行え、来訪者をもてなす受け皿ができることに繋がるので結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等の観光客を受け入れる体制を整える必要があるので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市(妙見・安楽地区)を訪れる観光客に、気持ち良く過ごしてもらうために妙見・安楽地区温泉振興会に補助金を交付し、同地区の受入体制を整備することは、来訪者をもてなす受け皿ができることに結びつくので対象・意図共に妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	妙見・安楽地区に観光誘客に係る補助金を交付し、花木の植栽や看板を整備することは、観光客の利便性を高めることに繋がり、成果の向上余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	霧島市の観光の振興には欠かせない団体であるので、廃止すると観光客の減少や受入体制が整わず影響がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	市内の5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、事業費の削減余地がある。また、適正な補助基準を策定すれば削減の余地がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員は補助金の交付事務のみであり削減余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	旅館協会は市からの補助金だけでなく会費も徴収し、運営がなされているので公平公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、事業費等の削減余地がある。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
宣伝事業の強化、効率的な観光の振興と情報発信することで観光客の増加が見込める。	市内に存在する5つの旅館協会の連携

事務事業コード	752216	事務事業名	妙見安楽温泉街なみづくり活動支援事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光PRG
基本事業名	3	受け入れ体制の充実		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 50 年代~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	4	観光費		霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	752216				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
市は、妙見・安楽地域の活性化と連帯感を深めることを目的として、設立された団体。地域住民を会員として運営されている。温泉振興会・安楽温泉振興会に対し、国道223号沿線に花を植栽するための補助金を交付している。 (市の活動) 妙見温泉振興会・安楽温泉振興会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理・交付決定・実績報告・補助金交付)を行う。 (団体の活動) 日本最古の温泉由来がある安楽温泉の景勝と街並みを守り、地域振興の発展のため、旧牧園町の町木であるモミジを継続的に植栽し、安楽温泉の名所づくりに努め、市内外からの集客をはかり、霧島市の観光事業行政に寄与することを目的としている。 平成23年度の具体的な事業内容としては、和気公園までのモミジ街道づくりに加え、藤まつりへの参加、和気神社・犬飼の滝周辺の看板外灯管理、龍馬ハネムーンウォーク歩道の下刈り整備等を行った。								
補助金・負担金の交付先	妙見・安楽振興会		補助金の対象経費	国道223号線に花を植栽するための経費				
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	補助した団体数	団体		2	2	2	2	
イ	植栽等活動参加者数	人		30	35	40	40	
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	霧島市を訪れた観光客数	観光客数	人	7,503,403	6,733,375	10,000,000	10,000,000	
イ								
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	花を植栽することにより、妙見・安楽地区の景観が向上する。	妙見・安楽に植栽された面積	m ²	1,000	1,000	1,000	1,000	
イ								
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	来訪者をもてなす受け皿ができる。	地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	%	未把握	未把握	80		
イ		もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	17	16	21		

(2) 事業費		単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
		23年度(決算)	24年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？		② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？	
予算額	当初予算額	764	741	国道223号沿線に花を植栽することによって、霧島を訪れる観光客に癒しの一時を提供するとともに、地域住民の連帯感を深めることを目的に昭和50年から開始された。		特に変化なし。	
	補正予算額						
	予算合計	764	741				
決算額	国庫補助金			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？		④ この事務事業に対する議会から出された意見	
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	764					
支出合計	764			特になし。		特になし。	

事務事業 コード	752216	事務 事業名	妙見安楽温泉街なみづくり活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成23年度 (決算)		平成24年度 (予定)		平成25年度 (予定)	
1	妙見温泉振興会	補助金	423	補助金	419	補助金	
		自主財源	0	自主財源		自主財源	
	対象地区	合計	423	合計	419	合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
2	安楽温泉振興会	補助金	341	補助金	322	補助金	
		自主財源	390	自主財源		自主財源	
	対象地区	合計	731	合計	322	合計	
		自主財源率	53%	自主財源率		自主財源率	
3		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	合計		合計		合計	
		自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計		補助金負担金合計	764	補助金負担金合計	741	補助金負担金合計	
		自主財源合計	390	自主財源合計		自主財源合計	
		自主財源率	34%	自主財源率		自主財源率	

■負担金交付の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の交付先種別			
					全国	九州	県	その他
1	負担金額							
2	負担金額							
3	負担金額							
4	負担金額							
5	負担金額							
合計								

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	764
補正予算	
合計	764

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	752216	事務事業名	妙見安楽温泉街なみづくり活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	妙見・安楽地区の国道223号線沿いに花を植栽することは、来訪者をもてなす受け皿をつくることにつながるので結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等の観光客を受け入れる体制を整える必要があるので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市(妙見・安楽地区)を訪れる観光客に、気持ち良く過ごしてもらうために妙見・安楽温泉振興会に補助金を交付し、同地区の受入体制を整備することは、来訪者をもてなす受け皿ができることに結びつくので対象・意図共に妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	花の植栽面積は限度があり、拡大、縮小の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	補助金が廃止・休止になれば、花の植栽面積減少し、景観も低下する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	最低限の予算で花を植栽しており削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員は補助金の交付事務のみであり削減余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	通り会も自主財源を投資しており、街並み全体がきれいになるので公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		現状のままで支障はない。

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
妙見・安楽の各温泉振興会へ街並みづくり(花の植栽)に係る補助金を交付し、霧島地域の観光の玄関口である同地区の国道223号線沿いに花を植栽することは、観光客へ「観光地霧島」というイメージを持ってもらう事ができ、満足度やリピート率の増加に繋がると期待できる。	補助金を交付し、霧島の観光の玄関口である妙見・安楽地区の国道223号線沿いに花を植栽し、観光客の満足度とイメージのアップを図って行く。

事務事業コード	752261	事務事業名	妙見温泉バス運行事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光地づくり・国立公園G
基本事業名	3	受け入れ体制の充実		電話番号	45-5111
				内線番号	2614
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 22 年度~)
	項	1	商工費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	4	観光費	根拠法令・条例等	特になし
	コード	752261			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績				
これまで、妙見温泉振興会が運行していた妙見温泉バスを新幹線全線開業に伴い、二次交通アクセス網の拡充を図るため平成23年3月12日から市内民間バスの運行しているいわさきバスネットワークに委託して運行している。 このことで、市内のを走るいわさきバスを利用できる観光者にお得な一日乗車券の発行ができた。 【委託先】いわさきバスネットワーク(株) 【バス停】隼人駅→鹿児島神宮→妙見温泉→嘉例川駅→鹿児島空港 【料金】 (130円) (330円) (510円) (630円)			事務事業の概要と同様				
			平成24年度計画				
			前年度と同様				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	延べ運行便数	便	220	4,026	4,015	4,015	
イ	運行日数	日	20	366	365	365	
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	バス利用者	利用者数(霧島神宮駅～えびの高原)	人	356	6,360	7,500	8,000
イ							
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	空港利用者	空港利用者数	万人	497	446	500	500
イ	霧島市を訪れる観光客	観光客数	万人	750	673	1,000	1,000
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	来訪者をもてなす受け皿ができる。	地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	%	未把握	未把握	80	
イ		もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	17	16	15	

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)	
予算額	当初予算額	9,258	7,439
	補正予算額	500	
	予算合計	9,758	7,439
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	10,771	
支出合計	10,771		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
平成14年度より鹿児島空港、隼人駅、嘉例川駅からの交通アクセスがなく、観光客が不便であったために開始された。	これまで、妙見温泉振興会の妙見温泉バスを運行していたが、新幹線全線開業に伴い、二次交通アクセス網の確立のため市の意向により、市の委託事業として、いわさきバスによる運行となり、市内のいわさきバスを利用する一日乗車券の発行ができるようになった。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
利用者や旅館等の組合等より停留所を増やしてほしい。列車に合わせた時刻表にしてほしい。嘉例川駅の停留所が遠い。などといった要望が意見がある。	特になし。

事務事業 コード	752261	事務 事業名	妙見温泉バス運行事業				担当部	商工観光部		
							担当課	観光課		

単位:千円		平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
		単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報酬									
2	給料									
3	職員手当等									
4	共済費									
7	賃金									
8	報償費									
9	旅費									
10	交際費									
11	需用費									
	消耗品費									
	燃料費									
	食料費									
	印刷製本費									
	光熱水費									
	修繕料									
12	役員費									
	通信運搬費									
	広告料									
	手数料									
	保険料									
13	委託料	10,771		10,771	11,703		11,703	11,000		11,000
14	使用料及び賃借料									
15	工事請負費									
16	原材料費									
17	公有財産購入費									
18	備品購入費									
19	負担金補助・交付金									
20	扶助費									
21	貸付金									
22	補償補填及び賠償金									
23	償還金・利息・割引料									
24	投資及び出資金									
25	積立金									
26	寄附金									
27	公課費									
28	繰出金									
計		10,771		10,771	11,703		11,703	11,000		11,000

財源内訳	国									
	県									
	地方債									
	辺地債									
	過疎債									
	合併特例債									
	その他									
一般財源	10,771		10,771	9,258		9,258	9,500		9,500	
計	10,771		10,771	9,258		9,258	9,500		9,500	

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 23 年度	当初予算	9,258千円		
	補正予算	500千円		
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	500
予算合計		9,758千円		

平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	752261	事務事業名	妙見温泉バス運行事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	いわさきバスネットワーク㈱に運行委託し、単人駅～妙見～空港を結ぶバスを運行することは、来訪者をもてなす受け皿ができることに結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等の観光客を受け入れる体制を整える必要があるので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	日当山・妙見・安楽温泉の利用者や空港を利用する観光客のニーズに応えるべき交通アクセスとしてバスを運行することは、来訪者をもてなす受け皿ができることに繋がり、対象・意図共に妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	乗車人員が上がれば運賃収入額も増え、財政健全化も図られる。しかしながら、今後も利用客のニーズに合うような対策を講ずる必要もあり、新たな路線の新設など成果の向上余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	空港や嘉例川駅から妙見への移動手段がなくなり、来訪者の利便性が図られない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) コミュニティバス運営事業、霧島連山周遊バス運行事業 対象・意図が違うので統合できない。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	周辺の観光施設が整備され、受入れ態勢や旅行エージェントとの繋がりができれば、路線バス事業への転換等が考えられ、事業費の削減が図られる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	委託料の交付事務のみであるので削減の余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	温泉バス利用者からは乗車賃を徴収しており、公平公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市単独の委託契約事業であるので、近隣市町も含めた広域的な運行業務も視野に入れ、路線の拡大や旅行エージェントとの連携すれば、コストの低減が期待できる。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 日当山・妙見・安楽温泉の利用者や空港を利用する観光客の受入体制を強化するため、平成24年度も引き続き実施していく。 霧島市単独の委託契約事業であるので、近隣市町も含めた広域的な運行業務も視野に入れ、路線の拡大や旅行エージェントとの連携すれば、コストの低減が期待できる。	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 利用者のニーズに合うような対策を講ずる必要がある。

事務事業コード	752241	事務事業名	霧島よかとこ案内所運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		グループ	観光PRG
施策名	3	観光業の振興		電話番号	45-5111
基本事業名	3	受け入れ体制の充実		内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 H 19 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ ～ ）
	款	7	商工費		
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	特になし
	目	4	観光費		
コード	752241				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
霧島市を訪れる観光客に対し、霧島市のどこにいても観光案内ができるよう、市内にある店舗等の事業所で道案内、観光地・観光施設などの紹介、パンフレットの配布を行ってもらう「よかとこ案内所」を設置している。 よかとこ案内所には、専用ののぼり旗が設置してあり、トイレだけでも立寄り可能。 市は、よかとこ案内所に対してパンフレットやマップ・観光早見表を配布し、案内所がいつでも観光案内ができるように努めている。 選考基準は、特にないが同一地域内で密集しないように選んでいる。選んだ業者の方に了承を得、よかとこ案内所として協力していただいている。 今後は、更に観光客の方に利用していただけるよう、情報の共有化等図っていく。			事務事業の概要と同様			
			平成24年度計画			
		前年度と同様				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	依頼した事業所数	箇所	98	97	100	100
イ	パンフレットの配布回数	回	4	3	10	10
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	霧島市を訪れた観光客数	人	7,503,403	6,733,375	1,000,000	1,000,000
イ						
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	市内の様々な店舗で観光案内がされるようになる。	枚	4,000	4,000	5,000	5,000
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	来訪者をもてなす受け皿ができる。	%	未把握	未把握	80	
イ	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	17	16	21	

(2) 事業費 単位:千円

	23年度 (決算)	24年度 (予算)
予算額	当初予算額	55
	補正予算額	0
	予算合計	55
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	41
支出合計	41	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
近年、旅行形態が変化し、旅行者のニーズとして住民とのふれあいを求めるケースが増えている。この事業は旅行者にタイムリーな情報提供を行うことと、住民による観光案内により住民とのふれあいを果たすことができることから平成19年度から開始された。	特に変化なし。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
特になし。	特になし。

事務事業コード	752241	事務事業名	霧島よかとこ案内所運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費				12		12	12		12
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	41		41	43		43	43		43
消耗品費	41		41	43		43	43		43
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役員費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	41		41	55		55	55		55

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	41		41	55		55			
計	41		41	55		55			

補助率	国		
	県		
補助基本額			

平成23年度	当初予算	55千円			平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳
	補正予算				
	第1回(6月)		第5回		
	第2回(9月)		第6回		
	第3回		第7回		
	第4回		第8回		
予算合計	55千円			参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	752241	事務事業名	霧島よかとこ案内所運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	よかとこ案内所を開設し、霧島市を訪れる観光客に対し市内のいたるところで観光案内ができるようになることは来訪者をもてなす受け皿ができることにつながり結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等の観光客を受け入れる体制を整える必要があるので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	よかとこ案内所を設置し、霧島市を訪れる観光客に対して市内いたるところで観光案内を可能とすることは、来訪者をもてなす受け皿ができることに繋がり、対象・意図共に妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	「霧島よかとこ案内所」をさらに増やすことで観光客の案内の機会も増えパンフレットの配布枚数も増加し、成果を向上させることができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	観光客が手軽に道を聞いたり、パンフレット等を手に入れる場が減り、観光客の受け入れ機能が落ちる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費はのぼりの作成費用のみであり、最低限の事業費であるので削減余地は無い。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	観光協会に委託することで人件費の削減余地はある。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市役所、観光協会等でしか手に入らなかったパンフレットやマップを市内いたるところで入手することができ、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		今後も案内所の数を増やし、観光客の受入態勢を強化する。将来的には観光協会へ委託する。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 観光客の利便性を高めるために、協力依頼を市内店舗等に行い、案内所の数を増やしていく。 観光協会へ事務委託ができないか検討していく。	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 案内所の数を増やしていくために、協力依頼を市内店舗等に行っていく。 観光協会への事務委託に関する協議

事務事業コード	752242	事務事業名	霧島温泉旅館協会運営支援事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光PRG
基本事業名	3	受け入れ体制の充実		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 40 年度~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	4	観光費		霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	752242				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)
霧島温泉旅館協会とは、温泉地の観光客誘致を目的として設立した団体。(牧園 丸尾地区の宿泊施設を会員として運営されている団体である。)
(市の活動)
霧島温泉地区を訪れた観光客の受入のため、夏の観光宣伝(温泉クーポン、スタンプラリー)、霧島国際音楽祭にあわせロビーコンサートの実施など霧島温泉旅館協会が行っている事業に対し入湯税の還元として補助金を支給している。
補助金申請受付→補助金確定通知→補助金請求→補助金交付
(団体の活動)
霧島温泉地区に誘客を行うために各種宣伝活動(九面太鼓演奏、チラシ配布等)、イベント活動(きりしま郷土芸能のタベ等)を実施した。

補助金・負担金の交付先 霧島温泉旅館協会 補助金の対象経費 霧島温泉旅館協会運営に関する経費

② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)	
ア	クーポン発券枚数	枚	1,000				
イ	ロビーコンサートの実施回数	回	6				
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	霧島市を訪れた観光客数	観光客数	人	7,503,403	6,733,375	10,000,000	10,000,000
イ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	霧島温泉地区の観光を楽しむことができる。	苦情件数	件	未把握	未把握		
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	来訪者をもてなす受け皿ができる。	地域住民・観光業者のおもてなしを感じた旅行者の割合	%	未把握	未把握	80	
イ		もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	17	16	21	

(2)事業費 単位：千円

	23年度 (決算)	24年度 (予算)
予算額	当初予算額	1,710
	補正予算額	
	予算合計	1,710
決算額	国庫補助金	
	県支出金	
	地方債	
	その他	
	一般財源	1,710
	支出合計	1,710

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 霧島温泉地区を訪れる観光客の受け入れ体制の強化を目的に昭和40年代から開始された。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 特になし。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし。

事務事業 コード	752242	事務 事業名	霧島温泉旅館協会運営支援事業						担当部	商工観光部
									担当課	観光課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									会員数	平成23年度 (決算)		平成24年度 (予定)		平成25年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山		補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	霧島温泉旅館協会										補助金	1,710	補助金	1,710	補助金	1,710
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計										1,710		1,710		1,710	
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
2											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
3											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
4											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
5											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
6											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
8											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
9											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計															
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計										補助金負担金合計	1,710	補助金負担金合計	1,710	補助金負担金合計	1,710	
										自主財源合計		自主財源合計		自主財源合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		

■負担金交付の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の交付先種別				
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山				全国	九州	県	その他	
1										負担金額							
2										負担金額							
3										負担金額							
4										負担金額							
5										負担金額							
合計																	

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	1,710	第1回		第4回		第7回	
補正予算		第2回		第5回		第8回	
合計	1,710	第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	752242	事務事業名	霧島温泉旅館協会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島温泉旅館協会に宣伝事業補助を交付することによって、霧島温泉地区の観光振興が円滑に行え、来訪者をもてなす受け皿ができることに繋がりが結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等の観光客を受け入れる体制を整える必要があるため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市(霧島温泉地区)を訪れる観光客に、気持ち良く過ごしてもらうために霧島温泉旅館協会に補助金を交付し、同地区の受入体制を整備することは、来訪者をもてなす受け皿ができることに結びつくので対象・意図共に妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした受け入れ体制を整えることができ、成果向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	霧島市の観光振興には欠かせない団体であるので、廃止すると観光客が減少し影響がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、観光客の増加が見込まれ成果向上の余地がある。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、事業費の削減余地がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、補助金の交付事務も1回で済むため人件費の削減余地がある。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	旅館協会は市からの補助金だけではなく会費も徴収し運営がなされているので公平・公正である。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、事業費・人件費の削減余地がある。	

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 宣伝事業の強化、効率的な観光の振興と情報発信することで観光客の増加が見込める。	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 市内5つの旅館協会の連携に向けての情報交換等
--	---

事務事業コード	752247	事務事業名	霧島神宮温泉旅館協会運営支援事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光PRG
基本事業名	3	受け入れ体制の充実		電話番号	45-5111
				内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	1	商工費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	4	観光費	根拠法令・条例等	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	752247				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
霧島神宮温泉温泉旅館協会の運営費補助として補助金を交付している。 (市の活動)霧島神宮温泉温泉旅館協会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。 (各旅館協会の活動)霧島神宮温泉地区を訪れた観光客の受入れのための事業を行う。(パンフレット作成、クーポンの発券等)※霧島神宮温泉温泉旅館協会とは、観光客誘致を目的として設立した団体。霧島神宮周辺の宿泊施設を会員として運営されている団体である。 (団体の活動) 霧島神宮温泉地区への誘客を行うため、宣伝事業としてパンフレット、温泉クーポンを作成した。また、イベント事業としてグランドゴルフ大会等を実施した。								
補助金・負担金の交付先	霧島神宮温泉温泉旅館協会		補助金の対象経費	霧島神宮温泉温泉旅館協会の活動に要する経費				
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	温泉クーポンの発券枚数		枚	80,000				
イ	パンフレットの作成部数		部	10,000	10,000	10,000	10,000	
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	霧島市を訪れた観光客数	観光客数		人	7,503,403	6,733,375	10,000,000	10,000,000
イ								
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	霧島神宮温泉地区の観光を楽しんでもらう。	苦情件数		件	未把握	未把握		
イ								
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	来訪者をもてなす受け皿ができる。	地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合		%	未把握	未把握	80	
イ		もう一度行ってみたい温泉地ランキング		位	17	16	21	

(2)事業費		単位：千円		(3)事務事業の環境変化・住民意見等	
		23年度(決算)	24年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	602	602	昭和25年には国立公園観光協会ができており、下部組織として旅館協会が存在していた。霧島神宮周辺の観光振興を図ることを目的にこの事務事業開始された。	特に変化なし。
	補正予算額				
	予算合計	602	602		
決算額	国庫補助金			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金				
	地方債			特になし。	特になし。
	その他				
	一般財源	602			
	支出合計	602			

事務事業 コード	752247	事務 事業名	霧島神宮温泉旅館協会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									会員数	平成23年度 (決算)		平成24年度 (予定)		平成25年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山		補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	霧島神宮温泉旅館協会										補助金	602	補助金	602	補助金	602
											自主財源	1,144	自主財源	1,144	自主財源	1,144
	合計										合計	1,746	合計	1,746	合計	1,746
対象地区										自主財源率	66%	自主財源率	66%	自主財源率	66%	
2											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計										合計		合計		合計	
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
3											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計										合計		合計		合計	
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
4											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計										合計		合計		合計	
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
5											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計										合計		合計		合計	
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
6											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計										合計		合計		合計	
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計										合計		合計		合計	
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
8											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計										合計		合計		合計	
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
9											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計										合計		合計		合計	
対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計										補助金負担金合計	602	補助金負担金合計	602	補助金負担金合計	602	
										自主財源合計	1,144	自主財源合計	1,144	自主財源合計	1,144	
										自主財源率	66%	自主財源率	66%	自主財源率	66%	

■負担金交付の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の交付先種別				
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山				全国	九州	県	その他	
1										負担金額							
2										負担金額							
3										負担金額							
4										負担金額							
5										負担金額							
合計																	

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	602	第1回		第4回		第7回	
補正予算		第2回		第5回		第8回	
合計	602	第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	752247	事務事業名	霧島神宮温泉旅館協会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島神宮温泉旅館協会へ運営補助を支出することは、霧島神宮温泉の観光振興が円滑に行え、来訪者をもてなす受け皿ができることに繋がるので結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等の観光客を受け入れる体制を整える必要があるので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市(霧島神宮温泉地区)を訪れる観光客に、気持ち良く過ごしてもらうために同旅館協会に補助金を交付し、同地区の受入体制を整備することは、来訪者をもてなす受け皿ができることに結びつくので対象・意図共に妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、観光客の増加が見込まれ成果向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	霧島市の観光の振興には欠かせない団体であるので、廃止すると観光客の減少や受入態勢が整わず影響がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、事業費の削減余地がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、補助金の交付事務も1回で済むので人件費の削減余地がある。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	旅館協会は市からの補助金だけでなく会費も徴収し、運営がなされているので公平公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、事業費の削減余地がある。	

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
宣伝事業の強化、効率的な観光の振興と情報発信することで観光客の増加が見込める。	市内5つの旅館協会の連携に向けての情報交換等

事務事業コード	752249	事務事業名	霧島連山周遊バス運行事業	担当部	商工観光部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光地づくり・国立公園G
基本事業名	3	受け入れ体制の充実		電話番号	45-5111
				内線番号	2614
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	4	観光費		
	コード	752249			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績				
平成17年より霧島からえびの高原行き交通アクセスがなく登山者が不便なため、毎週土日に霧島神宮駅から霧島神宮、高千穂河原を経由してえびの高原まで2往復バスを運行し、登山者の利便性を高めるため、運行していたが、九州新幹線全線開業に伴い、平成23年3月12日以降は毎日運行している。また、丸尾地区から高千穂ビジターセンター行き2往復バスも運行を開始した。 【委託先】いわさきバスネットワーク(株) 【バス停】霧島神宮駅→霧島神宮→高千穂河原→新湯温泉→大浪池登山口→えびの高原(及びこの逆) 【料金】霧島神宮駅→霧島神宮→高千穂河原→新湯温泉→大浪池登山口→えびの高原 (240円) (430円) (600円) (660円) (740円) 【バス停】丸尾→霧島いわさきホテル→新湯温泉入口→高千穂河原 【料金】 (140円) (240円) (430円)			新幹線全線開業に伴い、二次交通アクセスの充実を図るため、平成23年3月12日から路線で運行することになったが、県道104号線の通行規制などにより、丸尾線は運休し、えびの高原線も路線変更等を余儀なくされた。				
			平成24年度計画				
			新燃岳のマグマ供給に変化みられず、新燃岳のみならず、主要な霧島山への立入規制が継続されたままであるため、費用対効果を検討した結果、今年度は運休せざるを得なかった。				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	延べ運行便数	便	436	1,432	1,040	2,920	
イ	運行日数	日	109	358	260	365	
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	バス利用者	利用者数(霧島神宮駅～えびの高原)	人	3,375	2,099	0	10,000
イ	バス利用者	利用者数(丸尾～高千穂河原)	人	0	0	0	5,000
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	利用者(登山者、観光客)は霧島連山の縦走を車を気にせず、楽しむことができる。	乗車率(霧島神宮駅～えびの高原)	%	10	2	0	9
イ		乗車率(丸尾～高千穂河原)	%	0	0	0	5
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	来訪者をもてなす受け皿ができる。	地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	%	未把握	未把握	未把握	
イ		もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	17	16	15	

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)	
予算額	当初予算額	7,439	0
	補正予算額	1,500	
	予算合計	8,939	0
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	8,838	
	支出合計	8,838	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
平成17年より霧島からえびの高原行き交通アクセスがなく、登山者が不便であったために開始された。	新幹線全線開業を受け二次交通アクセス網の確立のためこれまで、土日(5月のみ毎日)のみの運行であったが、平成23年3月12日からは毎日運行及び一路線であったが、利便性を考慮し、二路線としたが、新燃岳火山活動により、目的達成が困難な状況になった。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
高千穂河原ビジターセンター、えびの高原に行く交通手段がなくなった。	特になし。

事務事業コード	752249	事務事業名	霧島連山周遊バス運行事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役員費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	8,838		8,838				16,000		16,000
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	8,838		8,838				16,000		16,000

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	8,838		8,838				8,000		8,000
計	8,838		8,838				8,000		8,000

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成23年度	当初予算	7,439千円		
	補正予算	1,500千円		
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	1,500
予算合計	8,939千円			

平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	752249	事務事業名	霧島連山周遊バス運行事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島連山を縦走や登山のための交通手段として、連山周遊バスを運行することは、登山客の利便が図られ、観光客をもてなす受け皿ができることに結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等の観光客を受け入れる体制を整える必要があるので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	登山客よりの登山口からのアクセスの整備が挙げられているので、いわきバスネットワーク㈱に委託して事業を行うことにより、来訪者をもてなす受け皿ができるので、対象・意図共に妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	現在の火山活動状況を考慮して、新たなルート、利用者の利便性に合わせたルートなど検討することで、向上の余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	今年度から休止することになったが、霧島連山への交通手段がなくなった。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) コミュニティバス運営事業、妙見温泉バス運行事業 対象・意図がことなるので統合できない。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	周辺の観光施設が整備され、受入れ態勢や旅行エージェントとの繋がりができれば、路線バス事業への転換等が考えられ、事業費の削減が図られる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	今年度は運休により事務がないため、削減の余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	周遊バス利用者からは乗車賃を徴収しており、公平公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	現在、新燃岳の噴火に伴う入山規制で運行を中止しているが、登山者(入山規制外の山への登山者)のニーズに合わせた走行ルートを拡幅する等すれば成果の向上が見込まれる。また、旅行エージェント等と連携して乗客が増えれば路線バスへの転換も考えられる。	

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
新燃岳の噴火に伴う入山規制を受け、平成24年度は運休とした。	再運行、新たなルートなどバス会社と打ち合わせをしながら、利用者のニーズに合うような対策を講ずる必要がある。また、路線等の増加したことにより、旅行商品への組み込みもし易くなり、観光誘客数の増加が期待できる。ただし、霧島連山入山規制緩和又は解除されることが急務である。

事務事業コード	752210	事務事業名	「ハンギリだし」開催支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	観光G
施策名	4	伝統文化の保存・継承		電話番号	45-5111
基本事業名	2	保存団体への支援		内線番号	2611
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 15 年度~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	4	観光費		特になし。
	コード	752210			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
国分広瀬地区の潮遊池で毎年、8月16日に小村新田魚捕り組合が飼馬桶を半分に切った筏に乗り、「エッナ」と呼ばれるボラの子を投げ網で捕り、その場でさばいたエッナを酢味噌などで食するという精進落としの伝統行事に対し、行事開始の合図の花火打ち上げ、仮設トイレの設置及び給水車による水の提供などを行う。			事務事業の概要と同様			
			平成24年度計画			
		前年度と同様				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	仮設トイレ数	基	2	1	1	1
イ	給水車数	台	1	1	1	1
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	広瀬地区の住民	人	6,322	6,370	6,240	6,199
イ						
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	ハンギリだしを見せよう	人	160	250	250	250
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	伝統文化を継承し、広めてもらう。	人	2,650	2,566	2,450	
イ	”	件	38	40	44	

(2) 事業費 単位:千円

	23年度(決算)	24年度(予算)	
予算額	当初予算額	24	25
	補正予算額	0	
	予算合計	24	25
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	24	
	支出合計	24	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 地域の伝統行事であるハンギリだしに参加される方々の利便性を図るため、平成15年から開始した。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 特に変化なし。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 特になし。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし。

事務事業コード	752210	事務事業名	「ハンギリだし」開催支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	10		10	10		10			
消耗品費	10		10	10		10			
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役員費	1		1	2		2			
通信運搬費									
広告料									
手数料	1		1	2		2			
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料	13		13	13		13			
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	24		24	25		25			

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	24		24	25		25			
計	24		24	25		25			

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成23年度	当初予算	25千円			平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳
	補正予算				
	第1回(6月)		第5回		
	第2回(9月)		第6回		
	第3回		第7回		
	第4回		第8回		
予算合計	25千円			参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	752210	事務事業名	「ハンギリだし」開催支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	伝統行事である「ハンギリだし」を支援することは、伝統文化を継承し、広げることに繋がり結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	伝統文化(特に郷土芸能や年中行事)の活用は、地域の活性化、地域づくり、コミュニケーションづくりの役割として位置付けができるため、市は地、域と保存団体との連携を図る必要があり妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	広瀬地区の住民にハンギリだしを見て体験してもらうことにより伝統文化を継承し、広めてもらうことに繋がり妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	伝統文化を保存・継承するために行っている事業であり、観光課で実施するのではなく、教育委員会で他の伝統行事への支援と合わせて事業を実施した方が伝統文化を保存継承していくうえでの成果の向上余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	トイレ等の設置費用のため、事業を廃止した場合、衛生面に支障が出る。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	伝統行事の開始合図の花火代や当日のトイレレンタル料など最小限の事業費であり、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	仮設トイレの手配、給水車手配などや使用料の支出等の事務のみであり削減余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	伝統行事であり、受益負担はなじまない。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		地元の魚取り組合が行う伝統行事で、今後保存・継承するために支援が必要であるが、事業を教育委員会で実施することにより、成果の向上が見込まれる。

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
地元の魚取り組合が行う伝統行事で、今後保存・継承するために支援が必要であるが、事業を教育委員会で実施することにより、成果の向上が見込まれる。 教育委員会と協議する。	教育委員会に移管できなかった場合は、引き続き保存・継承のために広瀬地区の方々にハンギリだしの継承に対する理解を深めてもらうよう周知を行う。

事務事業コード	752214	事務事業名	ほぜ祭り開催支援事業	担当部	商工観光部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	観光課
施策名	4	伝統文化の保存継承		グループ	観光PRG
基本事業名	2	保存団体への支援		電話番号	45-5111
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 — 不明年度~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	4	観光費		
コード	752214				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
ほぜ祭り奉賛会に補助金を交付し、ほぜ祭り奉賛会が行うほぜ祭りを支援している。 (市の活動)ほぜ祭り奉賛会に補助金を支出するための手続き(申請書の受付、交付決定、概算払い申請受付、補助金交付、実績報告受付、補助金精算)を行う。 (ほぜ祭り奉賛会とは)例年11月に霧島神宮で行われる『ほぜ祭り』開催にあたり、計画・実施などを行う団体。 構成員:会長 霧島市長、副会長 霧島総合支所長・霧島市観光協会長・霧島市商工会長 他委員17名・監事2名。 (ほぜ祭り奉賛会の活動) 11月23日に霧島神宮で五穀豊穣祈願と豊年を祝い奉納を行う行事として『ほぜ祭り』を行う。 【ほぜ祭りの概要】豊年を祝い、神様への感謝のため奉納行事が行われる。地元スポーツ少年団による「子供みこし」を皮切りに、女性団体の踊り連、霧島中学校吹奏楽部の演奏、狭名田、戸田地区による棒踊り、霧島新ハンヤ節、俵踊り、ひよっこ踊りが奉納される。								
補助金・負担金の交付先		ほぜ祭り実行委員会		補助金の対象経費				
				ほぜ祭り実行委員会の活動に要する経費				
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)	
ア	ほぜ祭延べ参加者数		人	4,800	3,000	4,000	4,000	
イ								
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	市民	人口		人	128,640	128,868	127,454	129,328
イ								
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	地域芸能に触れることができる。	参加団体数		団体	11	11	11	11
イ								
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	伝統芸能を継承し、広めてもらう。	郷土芸能に関わる人数		人	2,650	2566	2,450	
イ	”	発表を行っている団体		団体	38	38	44	

(2)事業費		単位：千円		(3)事務事業の環境変化・住民意見等	
		23年度(決算)	24年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 霧島神宮があることより、五穀豊穣のお祭りを昔より実施している。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 特に変化なし。
予算額	当初予算額	492	492		
	補正予算額				
	予算合計	492	492		
決算額	国庫補助金			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし。
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	465			
	支出合計	465			

事務事業 コード	752214	事務 事業名	ほげ祭り開催支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成23年度 (決算)	平成24年度 (予定)	平成25年度 (予定)
1	ほげ祭り実行委員会	補助金 465	補助金 492	補助金
		自主財源 532	自主財源	自主財源
	対象地区	合計 997	合計 492	合計
		自主財源率 53%	自主財源率	自主財源率
2		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
		自主財源率	自主財源率	自主財源率
3		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
		自主財源率	自主財源率	自主財源率
4		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
		自主財源率	自主財源率	自主財源率
5		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
		自主財源率	自主財源率	自主財源率
6		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
		自主財源率	自主財源率	自主財源率
7		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
		自主財源率	自主財源率	自主財源率
8		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
		自主財源率	自主財源率	自主財源率
9		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
		自主財源率	自主財源率	自主財源率
計		補助金負担金合計 465	補助金負担金合計 492	補助金負担金合計
		自主財源合計 532	自主財源合計	自主財源合計
		自主財源率 53%	自主財源率	自主財源率

■負担金交付の状況

単位：千円

団体名・協議会名	平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の交付先種別			
				全国	九州	県	その他
1	負担金額						
2	負担金額						
3	負担金額						
4	負担金額						
5	負担金額						
	合計						

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	492	第1回		第4回		第7回	
補正予算		第2回		第5回		第8回	
合計	492	第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	752214	事務事業名	ほぜ祭り開催支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	ほぜ祭は、霧島神宮で五穀豊穡祈願と豊年を祝い奉納を行う伝統行事であり、実行委員会を支援することは、伝統芸能を継承し、広めてもらうことに繋がり結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、地域の伝統・歴史を市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めさせる必要があるので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象はほぜ祭を通じて伝統芸能を市民が知ることができ、妥当である。意図はほぜまつりに触れる機会ができるので妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	地域住民による伝統行事のため、参加団体についても公募等は行わず、地元団体のみで実施しているため、これ以上参加団体を増やすことは出来ない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	ほぜ祭を廃止すれば、市民が伝統文化に触れる機会が少なくなり、伝統文化を継承し、広めていくことができなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	必要最小限の補助であり、これ以上削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金支出手続き事務のみであり、削減余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島神宮境内で行うため、入場料などは徴収せず、地元の住民から立ち寄りの観光客まで広く楽しんでいただいている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ほぜ祭りでは、郷土芸能の披露の他に、特産品の販売や相撲大会・ゲートボール大会など、地域の活性化につながるイベントも実施しているため、教育委員会ではなく、観光課から支援を行っている。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果 地域の伝統・歴史を市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めると同時に観光客の誘客にも努めていく。	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容 地域の伝統・歴史を市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めると同時に観光客の誘客にも努めていく。

事務事業コード	752234	事務事業名	天孫降臨霧島祭実行委員会活動支援事業	担当部	商工観光部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	観光課
施策名	4	伝統文化の保存継承		グループ	観光PRG
基本事業名	2	保存団体への支援		電話番号	45-5111
				内線番号	2613
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 18 年度~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	4	観光費		
コード	752234				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要) 天孫降臨霧島祭を実施している天孫降臨霧島祭実行委員会に補助金を交付している。 (市の活動)補助金を支出するための事務(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。 (実行委員会の活動)天孫降臨霧島祭の開催 霧島祭は、夏に2日間の日程で行われ、みやまコンセール、霧島神宮の2会場で霧島九面太鼓の太鼓演奏、霧島神楽振興会の霧島神楽、地域の郷土芸能などを披露し、地域の伝統芸能活性化を図ると共に、市外から誘客し市全体の観光活性化を図る。 ※同実行委員会は、祭を円滑に運営するために関係する団体の職員、市職員等で構成された組織である。					
補助金・負担金の交付先	天孫降臨霧島祭実行委員会		補助金の対象経費	天孫降臨霧島祭活動に要する経費	

② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)	
ア	祭りに見に来た人の数	人	4,000	10,100	6,000	6,500	
イ							
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	市民、旅行代理店	市の人口(4/1付け)	人	128,640	128,868	127,454	129,328
イ		PRした旅行代理店数	社	10	10	10	10
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	地域伝統芸能の活性化を図れる。	祭りに参加した芸能団体の数(延べ)	団体	38	26	38	38
イ	地域伝統芸能に触れる機会を得られる。	ツアー企画に興味を持った旅行代理店	社	10	10	10	10
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)
ア	伝統芸能を継承し、広めてもらう。	郷土芸能に関わる人数	人	2,644	2,515	2,450	
イ	"	発表を行っている団体数	団体	44	45	44	

(2) 事業費		単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
	23年度 (決算)	24年度 (予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 旧霧島町で行われていた神楽祭りや旧牧園町で行われていた霧島高原太鼓まつりを合併を機に平成18年より天孫降臨霧島祭として一つの祭りに統合し、本市の地域の伝統芸能の啓蒙を図ることを目的に開催された。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 合併を機に旧霧島地区・牧園地区で行われていた二大祭を天孫降臨霧島祭として一つの祭りに統合し、天孫降臨の地「霧島」を内外に強くPRするため。	
予算額	当初予算額	7,176			
	補正予算額				
	予算合計	7,176			
決算額	国庫補助金		③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし。	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	7,176			
	支出合計	7,176			

事務事業 コード	752234	事 務 事業名	天孫降臨霧島祭実行委員会活動支援事業	担 当 部	商工観光部
				担 当 課	観光課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

団体名・協議会名		平成23年度 (決算)	平成24年度 (予定)	平成25年度 (予定)
1	天孫降臨霧島祭実行委員会	補助金 7,176	補助金 7,100	補助金 7,100
		自主財源 1,289	自主財源 1,250	自主財源 1,250
	対象地区	合計 8,465	合計 8,350	合計 8,350
		自主財源率 15%	自主財源率 15%	自主財源率 15%
2		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
		自主財源率	自主財源率	自主財源率
3		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
		自主財源率	自主財源率	自主財源率
4		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
		自主財源率	自主財源率	自主財源率
5		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
		自主財源率	自主財源率	自主財源率
6		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
		自主財源率	自主財源率	自主財源率
7		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
		自主財源率	自主財源率	自主財源率
8		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
		自主財源率	自主財源率	自主財源率
9		補助金	補助金	補助金
		自主財源	自主財源	自主財源
	対象地区	合計	合計	合計
		自主財源率	自主財源率	自主財源率
計		補助金負担金合計 7,176	補助金負担金合計 7,100	補助金負担金合計 7,100
		自主財源合計 1,289	自主財源合計 1,250	自主財源合計 1,250
		自主財源率 15%	自主財源率 15%	自主財源率 15%

■負担金交付の状況

単位：千円

団体名・協議会名	平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の交付先種別			
				全国	九州	県	その他
1	負担金額						
2	負担金額						
3	負担金額						
4	負担金額						
5	負担金額						
	合計						

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	7,176	第1回 (1月)	第4回	第7回
補正予算		第2回	第5回	第8回
合計	7,176	第3回	第6回	

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	752234	事務事業名	天孫降臨霧島祭実行委員会活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	伝統芸能である霧島九面太鼓と霧島神楽が中心となって開催される天孫降臨霧島祭を支援することは伝統文化を継承し、広めてもらうことに結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域の伝統・歴史を市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めることは市の役割であるので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は、祭を見に来る市民及び観光客で妥当である。意図は、祭を開催することにより地域伝統芸能の活性化を図ることに結びついているので妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	祭の開催場所を増やしたり、参加団体を増やすことにより、市民が伝統芸能に触れる機会が増える。さらに旅行代理店と連携し新しい商品造成を依頼していくことで、ツアー参加者も望めるなどの向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	事業を廃止すれば、伝統芸能を披露する機会が損なわれるので影響がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 「ハンギリだし」活動支援事業、ほぜ祭り実行委員会活動支援事業 対象、意図が違うので統合できない。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	入場料を徴収し祭りの運営に充てているが、補助金の予算額も年々削減されている状態であるので削減の余地がない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金の交付事務については最低限の事務であるので削減の余地はないが、祭の運営等に関しては開催場所の地域住民やボランティア等を活用することにより削減の余地がある。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島祭では、地域の伝統芸能・歴史に触れる機会を広く市民に提供しており、公平・公正であると思われる。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	伝統芸能を披露する祭は少なく貴重な事業となっている。開催会場を増やしたり、参加団体の数を増やしていれば成果の向上が見込まれる。教育委員会とも民芸保存として移管できないか協議をするも、本事業は伝統行事ではないので移管はできないとの見解であったが、今後も協議を行う必要がある。 ツアー商品はまだ無いが、引き続き旅行会社に依頼していく必要がある。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
地域の伝統・歴史を市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めると同時に観光客の誘客にも努めていく。具体的には、旅行会社にツアー商品造成依頼を引き続き行っていく。また、効率性改善としては地元住民やボランティアの協力を募り、コスト削減に努めていく。教育委員会に所管を移せないか協議していく。	地域の伝統・歴史を市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めると同時に観光客の誘客にも努めていく。具体的には、旅行会社にツアー商品造成依頼を引き続き行っていく。また、効率性改善としては地元住民やボランティアの協力を募り、コスト削減に努めていく。

事務事業コード	752238	事務事業名	隼人町民芸保存会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	観光グループ
施策名	4	伝統文化の保存・継承		電話番号	45-5111
基本事業名	2	保存団体への支援		内線番号	2612
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 39 年度~)
	項	1	商工費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	4	観光費		霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	752238				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)

隼人町民芸保存会の運営費補助として補助金を交付している。
(市の活動)
隼人町民芸保存会に補助金を支出するための手続き(申請書の受付、交付決定、概算払い申請受付、補助金交付、実績報告受付、補助金精算)を行う。
(隼人町民芸保存会の活動)
13(御田植祭、田の神舞、トド組、太鼓踊り、棒踊り、隼人浜下り、郷土玩具、鈴かけ馬踊り、かぎ引き、琉球人踊り、米作り踊り、魚とり踊り、隼人弓)の郷土芸能の保存・継承活動及び伝統工芸、郷土玩具の保存・継承活動

補助金・負担金の交付先	隼人町民芸保存会	補助金の対象経費	運営費			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	補助した団体数	団体	1	1	1	1
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	隼人町民芸保存会	団体数	13	13	13	13
イ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	郷土芸能の保存・継承活動に取り組んでもらう。	保存・継承活動を行った民芸保存会の郷土芸能等の数	13	13	13	13
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	伝統文化を継承し、広めてもらう。	郷土芸能に関わる人数(団体登録者)	人	2,650	2,566	2,450
イ	〃	発表を行っている団体数	団体	38	40	44

(2)事業費		単位：千円		(3)事務事業の環境変化・住民意見等	
		23年度(決算)	24年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	3,191	3,191	昭和39年に隼人町固有の伝統的な郷土民芸、郷土玩具等を文化財あるいは観光資源として、未永く保存して伝えていくために、隼人町民芸保存会が発足している。	後継者不足、活動資金不足が深刻である。
	補正予算額				
	予算合計	3,191	3,191		
決算額	国庫補助金			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？ 自主財源の確保が難しい中で、平成23年度並みの補助金が確保できなければ、民芸保存会の存続が困難になり、保存すべき民芸が消滅する恐れがある。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,191			
	支出合計	3,191			

事務事業 コード	752238	事 務 事業名	隼人町民芸保存会運営支援事業	担 当 部	商工観光部
				担 当 課	観光課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

1	団体名・協議会名								会員数	平成23年度 (決算)		平成24年度 (予定)		平成25年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人		福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金
	隼人町民芸保存会								13人	補助金	3,191	補助金	3,191	補助金	3,191
										自主財源	120	自主財源	120	自主財源	120
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	3,311	合計	3,311	合計	3,311
									○	自主財源率	4%	自主財源率	4%	自主財源率	4%
2										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計									13人	補助金負担金合計	3,191	補助金負担金合計	3,191	補助金負担金合計	3,191
										自主財源合計	120	自主財源合計	120	自主財源合計	120
										自主財源率	4%	自主財源率	4%	自主財源率	4%

■負担金の状況

単位：千円

1	団体名・協議会名								平成23年度 (決算)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (予定)	負担金の支払先				
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人				福山	全国	九州	県	その他
									負担金額							
2									負担金額							
3									負担金額							
4									負担金額							
5									負担金額							
合計																

■平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	3,191
補正予算	
合計	3,191

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	752238	事務事業名	隼人町民芸保存会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	隼人町民芸保存会への支援であり、伝統文化を継承し、広めてもらうことに結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	伝統文化(特に郷土芸能や年中行事)の活用は、地域の活性化、地域づくり、コミュニケーションづくりの役割として位置付けができるため、市は地、域と保存団体との連携を図る必要があり妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	隼人町民芸保存会の円滑な運営と財政の健全化を図ることにより伝統文化を継承し、広めてもらうことに繋がるので対象・意図共に妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	隼人町民芸保存会に対する運営補助であり、向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	自主財源のみでは保存・継承ができなくなり、伝統文化が消滅する恐れがある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 他の民俗芸能伝承団体に対する運営補助 他の民俗芸能団体に対する運営補助は文化振興課の事務であり、協議が必要である。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	自主財源が少なく、これ以上の削減は保存・継承に支障をきたす。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金交付事務のみであり、削減余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	郷土芸能は市の財産であり、これらを保存・継承していくことで、市民が伝統文化に触れる機会が増え、またそれらを大切にすることを繋がる。これらの理由から、行政の支援は必要であり公平公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	他の類似事業と窓口を一本化することにより、伝承活動に対する支援を一体的に進める必要がある。	

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
・市内の民俗芸能団体を包括的に支援する(仮称)霧島市民芸保存会設立について、文化振興課と協議を行う。	・(仮称)霧島市民芸保存会設立に向けた協議

事務事業コード	752111	事務事業名	関平鉱泉販売・管理運営事業	担当部	商工観光部
担当課				担当課	観光課
政策名	7	新たな行政経営によりまっづくり		グループ	関平鉱泉販売所
施策名	1	健全な財政運営の推進		電話番号	78-2950
基本事業名	1	歳入の確保		内線番号	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	2	総務費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 58 年度~)
	項	1	総務管理費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	15	関平鉱泉管理費	根拠法令・条例等	霧島市関平温泉・霧島市関平鉱泉販売所の設置及び管理に関する条例 霧島市関平温泉・霧島市関平鉱泉販売所の設置及び管理に関する条例施行規則
	コード	2410			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成23年度実績			
関平鉱泉販売所は、昭和58年に、市民及び一般来訪者の保養と福祉、併せて市民生活の向上・収入の確保を目的に設置され、鉱泉水の製造・販売を行っている。本事業では、販売所の施設管理及び鉱泉水の販売促進のためのコンサルタントへの販売強化委託、宣伝・広報活動やクレームへの適切な対応を行うものである。 【鉱泉水】20L(1,000円)・10L(600円)・10L2箱入(1,200円)・ペットボトル2L・500ml他 【主な販売促進手法】 ・関平鉱泉友の会の設立 ・ポイントカードの作成 ・経営強化会議の開催 ・宣伝活動の実施 ・クレーム対応			事務事業の概要と同様			
			平成24年度計画			
		前年度と同様				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	宣伝活動の実施回数	回	15	15	15	15
イ	経営強化会議の開催回数	回			12	12
ウ	クレームへの対応件数	件	18	15	10	10
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	市民、顧客	人口	128,640	128,868	127,454	129,328
イ						
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	関平鉱泉を適正な価格で購入できる。	千円	398,570	380,935	400,000	410,000
イ	クレームが解決する。	%	90	90	100	100
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	25年度(見込)
ア	受益者負担基準に基く見直し後の使用料の額	億円	16	20	20	
イ						

(2) 事業費		単位:千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
	23年度(決算)	24年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 昭和58年、市民及び一般来訪者の保護と福祉、市民福祉の向上を目的として設置された関平鉱泉販売所の効率的な運営と販売促進を実施することを目的に開始された。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 特に変化なし	
予算額					
当初予算額					
			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 市長より、財源確保として販売促進の要望がある。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし。	
補正予算額					
予算合計	0	0			
決算額	国庫補助金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源					
支出合計					

事務事業コード	752111	事務事業名	関平鉱泉販売・管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

単位:千円	平成23年度(決算)			平成24年度(当初予算)			平成25年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料	5,052		5,052	5,046		5,046	5,046		5,046
3 職員手当等	2,292		2,292	2,303		2,303	2,300		2,300
4 共済費	8,910		8,910	8,494		8,494	8,494		8,494
7 賃金	55,260		55,260	56,884		56,884	56,884		56,884
8 報償費									
9 旅費	148		148	238		238	150		150
10 交際費									
11 需用費	136,403		136,403	124,258		124,258	126,250		126,250
消耗品費	105,498		105,498	103,300		103,300	105,000		105,000
燃料費	7,068		7,068	7,250		7,250	7,500		7,500
食料費									
印刷製本費	1,648		1,648	730		730	730		730
光熱水費	7,444		7,444	7,463		7,463	7,500		7,500
修繕料	14,725		14,725	5,495		5,495	5,500		5,500
医薬材料費	20		20	20		20	20		20
12 役員費	62,629		62,629	62,224		62,224	62,680		62,680
通信運搬費	51,717		51,717	52,374		52,374	53,000		53,000
広告料	7,651		7,651	7,670		7,670	7,500		7,500
手数料	2,822		2,822	1,812		1,812	1,812		1,812
保険料	439		439	368		368	368		368
13 委託料	10,366		10,366	3,354		3,354	3,354		3,354
14 使用料及び賃借料	3,006		3,006	2,880		2,880	2,880		2,880
15 工事請負費	4,120		4,120						
16 原材料費	300		300	300		300	300		300
17 公有財産購入費									
18 備品購入費	1,800		1,800	350		350	1,000		1,000
19 負担金補助・交付金	334		334	2		2			
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金	137,930		137,930	1,991		1,991	2,000		2,000
26 寄附金									
27 公課費	46		46	30		30	56		56
28 繰出金									
計	428,596		428,596	268,354		268,354	271,394		271,394

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	428,596		428,596	268,354		268,354	271,394		271,394
計	428,596		428,596	268,354		268,354	271,394		271,394

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成23年度	当初予算	328,528千円			平成23年度 財源内訳の「その他」の内訳				
	補正予算	100,068千円							
	第1回(6月)			第5回					
	第2回(9月)			第6回					
	第3回			第7回					
	第4回			第8回(3月)	100,068				
	予算合計	428,596千円			参加費等の事業実施のための収入説明				

事務事業コード	752111	事務事業名	関平鉱泉販売・管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	適正な管理のもと、安心安全な関平鉱泉を市民(顧客)に愛飲してもらう事は、受益にあった使用料・手数料(利用料)、分担金等の負担をしてもらうことに繋がり結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、収入の確保(負担金、補助事業の導入、自主財源の確保)を行う必要があるため、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	適正な管理のもと、安心安全な関平鉱泉を市民(顧客)に愛飲してもらう事は、受益にあった使用料・手数料(利用料)、分担金等の負担をしてもらうことに繋がり対象・意図共に妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	鉱泉水の人体への影響を科学的に解明し、宣伝・広告を積極的にすることにより、売り上げの向上余地はある。 また、老朽化した販売施設を建て替え、利用者の利便を図れば、成果の向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	販売促進に関する事業を怠れば、鉱泉水の売上げが下がり、市の貴重な財源が不足する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	関平鉱泉知名度が上がり、販売額が湧水量を上回るようになれば、宣伝への費用は削減できる。またクレームに対しても対応のマニュアル等を作成すれば、電話・文書の対応で済み削減の余地がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事業は、最低限の事務であり、削減の余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	不特定多数が対象となり、安心安全な関平鉱泉を提供することにより、市民(顧客)からも販売代金を徴収しているので、公平性は保てる。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		関平鉱泉の売上げの向上を図るために、なる知名度のアップとスムーズなクレームへの対応及び老朽化した販売施設を建て替え、利用者の利便を向上させることができれば販売額は向上すると思われる。

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成24年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成25年度に取り組むべき具体的な内容
適正な施設管理と関平鉱泉水の知名度アップのためのPR活動、迅速かつ確実なクレーム対応を行い、市民(顧客)に対して安定した鉱泉水の供給に努め、売上の増加を図る。 販売施設建て替えの適否についての協議を行う。	適正な施設管理と関平鉱泉水の知名度アップのためのPR活動、迅速かつ確実なクレーム対応を行い、市民(顧客)に対して安定した鉱泉水の供給に努め、売上の増加を図る。 販売施設建て替えの適否についての協議を行う。